

基町住宅地区活性化計画

ひろしま真ん中 つながって生きる
『ふるさと基町』
～愛着と誇りあるまちづくり～

安心と笑顔の基町

出会いと交流の基町

にぎわいの基町

平成25年7月

広島市

目次

I	はじめに	1
1	計画策定の目的	1
2	計画対象区域	2
3	計画作成の手順	3
II	地区の現状と活性化のねらい	4
1	地区の現状（特色と問題点）	4
2	基町住宅地区における活性化とは～課題と活性化のねらい（地元の思い・願い）～	6
3	活性化の必要性	6
III	活性化の目標（どんな基町にするか：キーワードと基本理念、将来像）	7
IV	活性化策	8
1	活性化の方針	8
2	時期別活性化の考え方と取組の設定	9
3	短期的な取組など（短期で具体化を目指す取組など）	10
4	活性化策の全体メニュー	14
5	短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～（主として）新たな取組～	17
V	推進方策	33
1	推進体制	33
2	活性化策の推進に向けた体制の充実・強化と運営	34

I はじめに

1 計画策定の目的

基町住宅地区では、建物の老朽化のみならず、少子高齢化に伴う地域コミュニティの活力低下や空き店舗の増加に伴う商店街の衰退など多くの問題が顕在化している。また、地元においても活性化への機運が高まっており、これらの問題に起因する種々の課題に対応し、当該住宅地区の活性化が図れるよう、早急に取り組む必要がある。

このため、当該住宅地区の現況調査等を実施し、その結果等の分析を行ったうえで、活性化の方向性と活性化に向けた具体策（以下「活性化策」という。）等について、地区住民、学識経験者、行政職員などで構成する基町住宅地区活性化検討会（以下「検討会」という。）、コミュニティ及び商店街活性化検討部会（以下「検討部会」という。）において、住宅のみならず商業や福祉など幅広い観点から検討を行い、その結果を活性化計画として取りまとめ、これを基に地区住民等と協働して地区の活性化に取り組むものである。



2 計画対象区域

本計画の対象区域は、基町住宅地区（広島市中区基町16番、18番、19番及び20番の一部）及び周辺地区とする。



図 活性化計画の対象区域（主な調査・検討の区域）

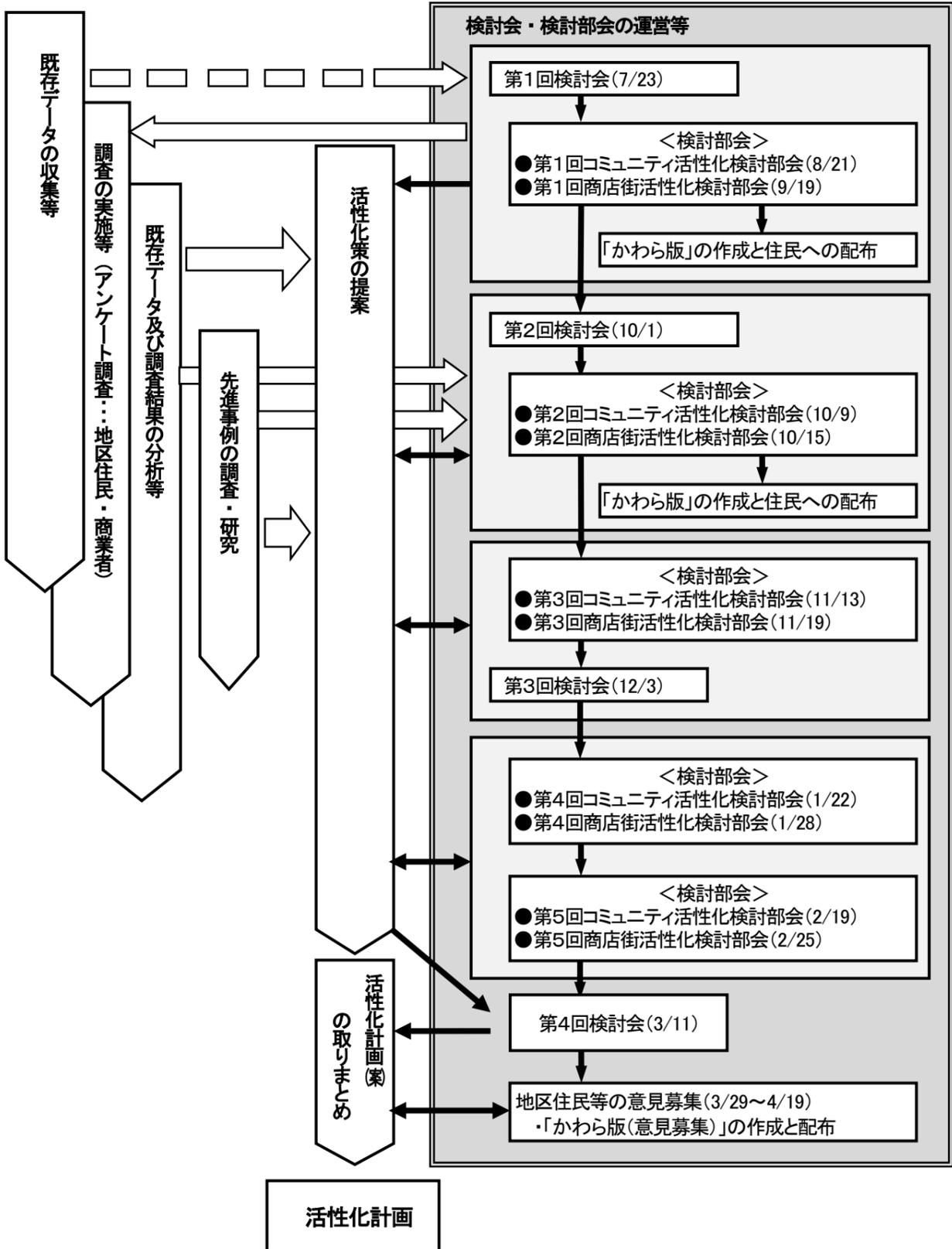
3 計画作成の手順

本計画の作成において、基町住宅地区活性化に関わる既存データの収集やアンケート調査、先進事例の調査などを行いながら、検討会・検討部会を開催し、そこでの意見を反映しながら、活性化策について検討し、掘り下げ、活性化計画(案)としてまとめた。

こうした計画(案)作成の過程では、「基町住宅地区活性化 かわら版」の作成と配布を行い、かわら版の第3号で、基町住宅地区活性化計画(案)に対する意見募集を行った。

この意見募集の結果等を踏まえて、活性化計画を取りまとめる。

図 計画作成の手順 (流れ)



コミュニティ活性化検討部会



商店街活性化検討部会



Ⅱ 地区の現状と活性化のねらい

1 地区の現状（特色と問題点）

（1）地区の位置づけ・特色

■「平和の軸線」が通るまち

- 原爆慰霊碑～原爆ドーム～ハノーバー庭園～グリーンアリーナなどから伸びる軸線が基町小学校などを通っている。

■都心にある計画的な一大住宅団地（中高層住宅団地）で全体が公共施設

- 基町再開発事業等で作られた都心の住宅地で、全体が公共空間となっている。
- 「く」の字型の住棟配置や屋上庭園、高層高密度再開発など、先駆的な取組がなされた建築及び都市計画であり、歴史的な意義を持っている。
- 都心にありながらも、緑と自然が豊かなまちである。
- 東には広島城跡、南には中央公園、西には太田川が位置し、緑や自然の豊かさを感じる都心の空間である。

■築城以来の歴史を有するまち

- 当地区は、旧城郭内にあり、また、すぐそば（東側）には広島城跡が位置し、築城以来の歴史文化を体感できる場所にある。

■多彩な公共公益施設が立地・近接

- 地区内には、保育園、幼稚園、小学校、児童館などの公共施設が計画的・一体的に配置されている。
- 周辺には、県立体育館や中央図書館、ファミリープール、こども文化科学館、青少年センター、ひろしま美術館などの様々な公共公益施設が立地している。

■地域コミュニティ

- 自治会加入率の高さ、見守りや支え合いの活動などの特色がある。

■公営住宅等の居住者による基町地区及びコミュニティの形成

- コミュニティの基本単位となる基町地区（中区基町）は、当地区以外には夜間人口はほとんどなく、公営住宅等の居住者だけで、基町地区や地域コミュニティが構成されているという特徴的な地区である。



「平和の軸線」は基町小学校などを通り、基町高層アパートは「平和の軸線」の両側に屏風のように建っている

※平和の軸線

平和記念資料館本館、広島市平和都市記念碑(原爆死没者慰霊碑)及び原爆ドームは、平和記念公園の中心軸として南北一線上に配置されている。これは、昭和24年に実施された設計競技で1等に入選した丹下健三グループの構想に基づくものであり、平和記念公園の中心コンセプトです。

(2) 地区の主要な問題点・留意点

■高齢化

- 広島市において突出した高齢化率（平成22年：40.6%）となっている。
- 自治会の担い手の高齢化等に伴い、地域コミュニティの活力の低下（行事の減少、参加者の減少）が懸念される。
- 高齢者の孤立死の増加の恐れが、より顕在化している状況である。
- 災害時要援護者が増加するとともに、避難支援者等の確保が難しくなっている（高齢者が高齢者を支える状況）。

■要介護者等の増加

- 多くの要支援・要介護認定者が居住している（平成24年度：約600人）。
- 地区内における通所サービス施設は未設置であり、地区外の様々な施設に通って通所サービスを受けている。

■少子化

- 高齢化と合わせて、少子化が進んでいる。（基町小学校各年度5月1日の児童数 平成18年度：177人→平成22年度：121人）
- 子どもの減少に伴い、子ども会活動などが停滞している。
- 地域コミュニティの活力にも影響している。
- ※ 多家族世帯に対応した住宅供給を進めている（2戸1化等住戸改善を実施中）。

■外国人等との交流・共存の制約

- 外国人等の居住者が増加しており、日本語の習得が十分でなく、日本の習慣に馴染めない外国人等との交流の難しさ・制約が指摘されている。（平成22年外国人比率：17.5%）

■商業の停滞

- 市営店舗における営業の不振、事業主の高齢化等による経営の困難化、空き店舗及びシャッターを閉めた店舗の増加（空家率：25.4% 平成24年4月1日）など、地区の商業が停滞した状況にある。
- 施設や設備の老朽化、顧客の減少、イメージ低下などが指摘される。

■団地共有空間等の活用の余地

- あまり利用されていない広場や緑地等が存在する。
- 歩行者ネットワークのわかりにくさ、段差などの障壁の存在（歩行者動線のバリアフリー化の必要）が指摘されている。

図 年齢3区分別人口比率（国勢調査）

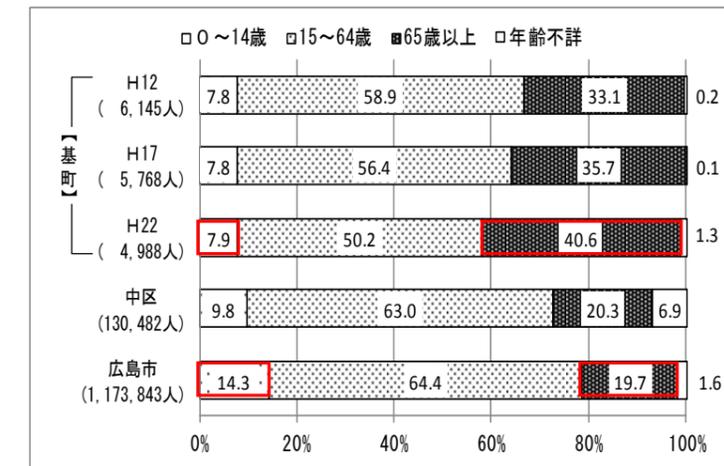
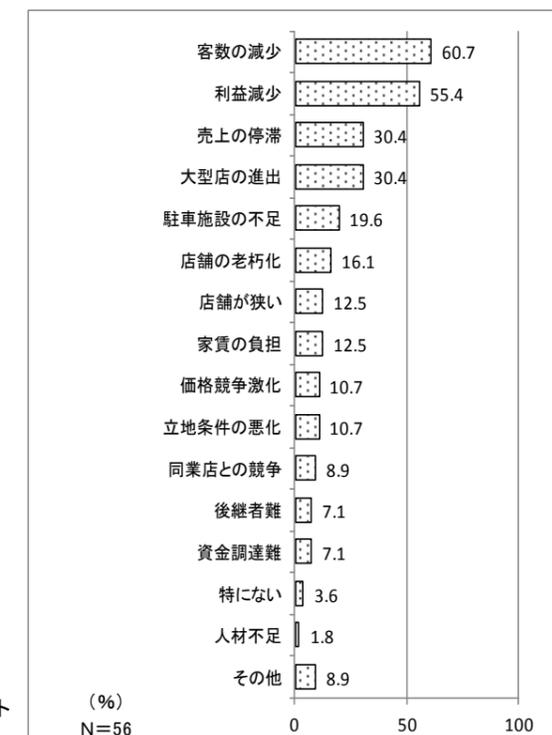


表 人口・高齢化率・外国人比率（平成22年国勢調査）
(人・%)

	総人口 (H22)				外国人	備考
	年齢3区分別					
	0～14歳	15～64歳	65歳以上			
基町地区	4,988	396	2,503	2,026	873	県管含む
		7.9	50.2	40.6	17.5	
中区	130,482	12,747	82,246	26,531	3,139	
		9.8	63.0	20.3	2.4	
広島市	1,173,843	167,793	755,983	231,145	13,346	
		14.3	64.4	19.7	1.1	

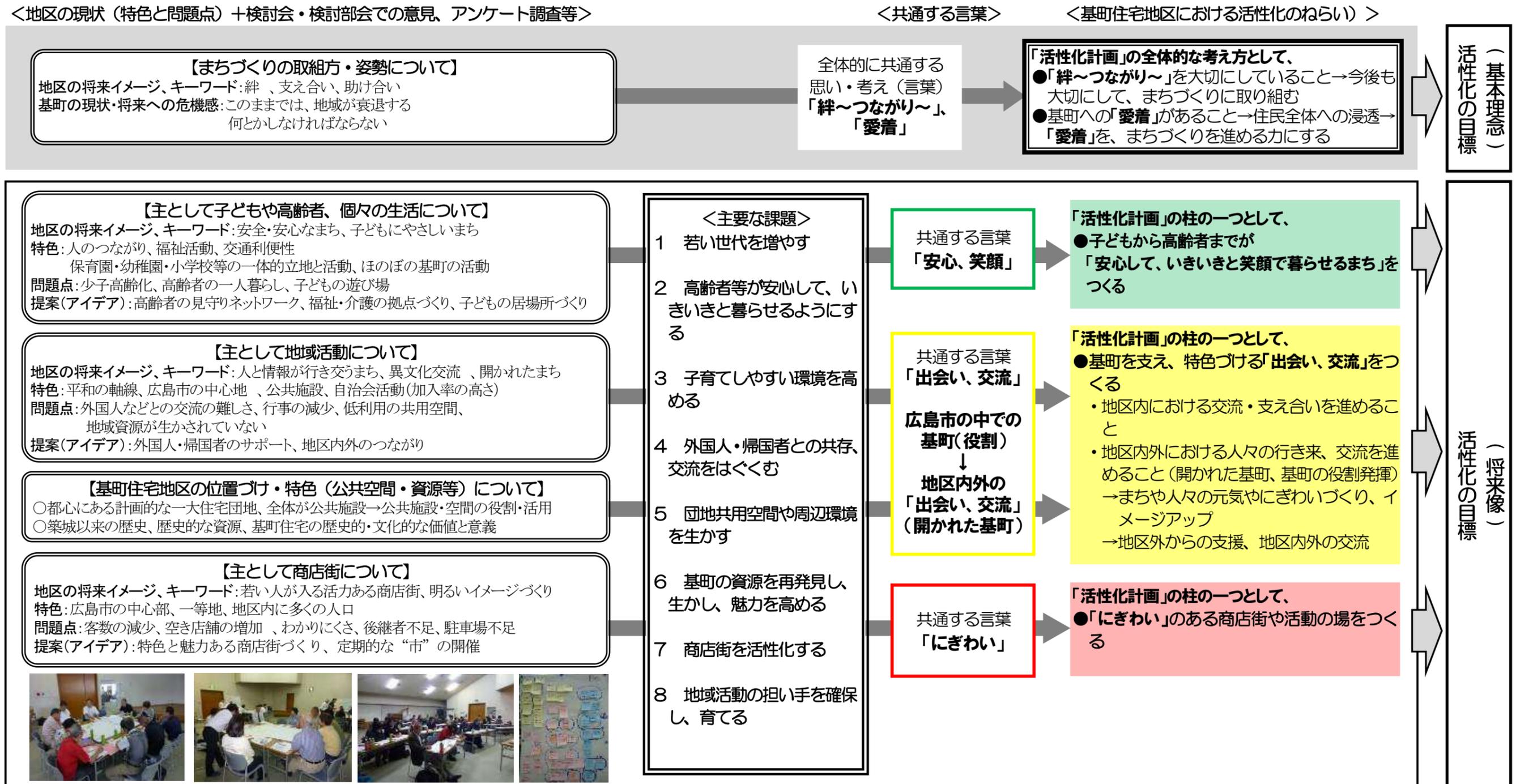
図 直面している経営上の問題（複数回答）



※市営店舗事業者アンケート

2 基町住宅地区における活性化とは～課題と活性化のねらい（地元の思い・願い）～

基町住宅地区における活性化（課題と活性化のねらい）とは、基町住宅地区活性化検討会、コミュニティ及び商店街活性化検討部会での意見などを踏まえ、以下のように考える。



3 活性化の必要性

多くの課題を抱える基町住宅地区では、地元において、活性化に向けてのプロジェクトを立ち上げるなど、活性化への機運が高まっていることと、概ね市営住宅団地の居住者だけで基町地区のコミュニティが構成されている特徴的な地区であることなどから、当該地区における活性化について取り組む必要がある。

Ⅲ 活性化の目標（どんな基町にするか：キーワードと基本理念、将来像）

【活性化の目標】

【活性化（まちづくり）の基本理念】

ひろしま真ん中 つながって生きる
『ふるさと基町』
～愛着と誇りあるまちづくり～

住民みんなが基町に愛着を持ち、みんなの力でまちづくりを進めていくように取り組む。

まちづくりが進むことによって、地域への誇りも醸成されることが期待され、そのことは基町を「ふるさと」と思う心につながる。

住民が、基町に愛着と誇りを持ち、「ふるさと」と思うことは、基町の特色であり、地域力（※）の向上につながる。

【キーワード】

『絆』

「絆」は、地域で従来から使用している理念となるキャッチフレーズである。

「支え合い、助け合い」を基本に、活性化（まちづくり）を住民参加で、また行政や地区外の支援を得ながら進めること、協働の取組を推進することを意図して、「絆」を象徴的なキーワードとして位置づける。

※地域力

地域社会の問題について、住民や自治会、企業をはじめとした地域の構成員が、自らその問題の所在を認識し、自立的かつ、行政やその他の主体との連携・協働を図りながら、問題の解決や地域としての価値及び活力を創造していくための力をいう。

【将来像】

安心と笑顔の
基町

みんなが安心して、
いきいきと笑顔で暮らせる
まちを目指す。

出会いと交流の
基町

住民相互が交流し・支え合い、
地区外の人とも出会いのある
まちを目指す。

にぎわいの
基町

商店街や地域の資源を
生かし、人が集い、にぎわう
まちを目指す。

活性化の取組へ

IV 活性化策

1 活性化の方針

〈将来像〉

〈活性化の方針（部門別テーマ）〉

安心と笑顔の基町



1 多世代・多様な世帯の居住の促進

若年家族、子育て世帯等の入居を促進し、多様な世代や世帯が、それぞれ一定割合を占めるコミュニティが形成できるように努める。

その際、地域再生計画による住宅の目的外使用について検討する。

2 高齢者等が安心・快適に暮らせるまちづくり

広島市の平均を大きく超えて超高齢社会となっている当地区において、見守りネットワークの充実や介護・福祉の拠点づくりなどに努め、高齢者をはじめだれもが安心・快適に暮らせるまちづくりに取り組む。

3 子育てしやすいまちづくり

都心に位置する住宅地であり、保育園・幼稚園・小学校・児童館等が計画的に整備され、周辺には中央公園などが立地する特性を生かしながら、安心して子育てができ、子どもたちが元気よく、充実した日々を過ごし、育っていくまちづくりに取り組む。

出会いと交流の基町



4 多様な文化が交流できるまちづくり

多様な文化を認め合いながら、基町で暮らす基本的なルールをだれもが学び、知り、守るとともに、様々な文化や人々の交流によって、基町ならではの魅力や心の豊かさなどを感じることができるまちづくりに取り組む。

5 団地共用空間の再編・活用

基町住宅地区における広場や緑地、道路や通路、集会所などの共用空間を再発見・再評価しながら、より有効に活用し、ここで暮らす楽しさや快適さ、利便さ、安全・安心などを高めるとともに、地区の魅力や誇りとなるような再編・活用にも取り組む。

にぎわいの基町



6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり

基町住宅地区の周辺を含め、一帯の歴史文化や緑、自然環境などの地域資源を把握し活用するとともに、基町高層アパートが、歴史的・文化的に意義を持つことを住民・市民に周知するなど、資源や遺産を生かしたまちづくりに取り組む。

7 にぎわい再生（商店街等）

基町住宅地区に立地する商店街等において、シャッターのデザインなどを含め入ってみたいくなる商店街や店舗づくりを進めるとともに、駐車場の確保や案内誘導の充実、定期的な“市”等のイベントの開催、組織的な運営の検討、地域資源の活用など、にぎわい再生に取り組む。

8 人・組織づくり

コミュニティ及び商店街等の組織づくりと相互連携により、基町活性化を支える推進母体を構築するとともに、地区外の協力者・支援者を含め、具体的取組における担い手の確保と体制・組織づくり、ボランティアの育成や基町応援団づくりなどに取り組む。

2 時期別活性化の考え方と取組の設定



パッケージとしての活性化策の具体化

3 短期的な取組など（短期で具体化を目指す取組など）

※短期：今後5年まで

1 多世代・多様な世帯の居住の促進

【新たな取組など】

■若年家族、子育て世帯等の入居促進（地域再生計画（目的外使用）を検討）

※地域再生計画（地域再生法）

地域が行う地域再生のための自主的・自立的な取組を総合的かつ効果的に支援するため、地方公共団体が作成し、その認定を申請する地域再生計画について内閣総理大臣が認定。計画に基づく事業に対する特別措置（住宅における目的外使用の弾力化）により再生を図る。

【継続・拡充の取組（●は継続・拡充）】

- 住戸改善と大家族世帯の入居促進
 - ・2戸1化住宅等の整備 など

2 高齢者等が安心・快適に暮らせるまちづくり

【新たな取組など】

■高齢者の生きがい活動・就労（継続の内容も）

- ・高齢者等の技術・技能の活用
- ・屋上農園・基町農園づくり…収穫祭、基町ハロウィン
- ・昔の遊びなどを子どもたちに教え、一緒に活動
- ・高齢者による出前講座（保育園、幼稚園、小学校など）
- ・子どもの見守り（継続・拡充）

■福祉・介護の拠点づくり（デイサービスセンター等の設置）

- ・高齢者や介護のための施設…地区内での通所介護サービス等の確保
- ・食事、風呂、サロン、機能訓練、趣味・創作・レクリエーション
- ・空き店舗等の活用

■超高齢社会に対応した居住の仕組み（高齢者の共同居住（ルームシェア）など…地域再生計画（目的外使用）を検討）

【継続・拡充の取組】

- 高齢者等に配慮した住宅整備
- 多彩な交流サロンの運営と連携（ほのぼの基町など）
- 高齢者見守りネットワークの強化
- 防災・避難体制の充実・強化



デイサービスのイメージ

3 子育てしやすいまちづくり

【新たな取組など】

■子どもたちの活動の場・居場所づくり

- ・基町ショッピングセンター屋上の広場の有効活用
 - ・中央公園における遊び場（ボール遊びなど）の確保（曜日・時間帯など）
 - ・小学生の居場所、中高生の居場所づくり（宿題・勉強、読書、遊びなど）
 - ・中央公園での「冒険の森」（計画）の具体化と合わせた都心における『森の学校』の活動
（中央公園一帯での『森の学校』：自然観察、体験学習、「森」を生かした遊び・工作、交流など）
- ※行政の支援：子育て支援相談員による相談、助言など

■若年家族、子育て世帯等の入居促進（再掲）

【継続・拡充の取組】

- 子どもの見守りと防犯体制の充実・強化
- 保育所・幼稚園・小学校・児童館等が連携した（を活用した）子育て環境の整備・充実
 - ・基町小学校などの取組、PRなど



保育園、幼稚園、小学校等が一体的に配置

4 多様な文化が交流できるまちづくり

【新たな取組など】

■外国人・帰国者のサポート、交流の仕組みづくり

…「人材活用とボランティア体制の構築」(8人・組織づくり)の中でスタート

- ・中国語通訳者の確保
- ・外国人向け日本語教室
- ・入居時ルールとマナー教室
- ・案内表示、生活ガイド
- ・外国人・帰国者との交流 など

※行政の支援

○必要な案内表示の設置

○広島市等の事業・制度の情報提供、利用促進：外国人市民の生活相談コーナー、通訳ボランティアの登録制度、ボランティア通訳者研修会、日本語教室、外国人市民のための生活ガイドブック（中国語など6言語）、ゴミの出し方などの情報提供（多言語）

【継続・拡充の取組】

- ほのぼの文庫基町の運営・活用
- 異文化相互理解の取組（基町小学校）
- 公民館活動等の発表会の年中行事化
（発表の場づくり）



基町小学校 国際理解デー

5 団地共用空間の再編・活用

【新たな取組など】

■屋上庭園の活用、花いっぱいの基町づくり

- ・花火大会のときなどの開放
- ・安全対策
- ・基町園芸（菜園）講座の実施（基町ショッピングセンターなどでの「基町農園」や「花いっぱい」と一体で取り組む）
- ・基町農園（イモ、カボチャ等）、花づくり、基町ミツバチ
- ・収穫物を生かしたイベント（収穫祭、基町ハロウィンなど）…基町ショッピングセンター屋上での取組と連携

■基町ショッピングセンター屋上の緑地等の活用、花いっぱいの基町づくり

- ・花づくり：基町ショッピングセンター屋上、東側入口付近の段状花壇
- ・基町農園づくり：屋上庭園の取組と連携

畑・花壇としての区画づくりの他、タテ50cm・ヨコ50cm～1m程度（できれば高さも50cm程度あれば、しゃがみ込まなくても大丈夫）木製プランター（鉢）の製作一人または少人数の仲間で管理。小さい場合は移動可能なのでそのまま基町バザール等へ新鮮野菜や花を出品。ベランダでの栽培も可能

※行政の支援：区の魅力づくり事業への位置づけ（花の苗、用土、肥料等の提供）

基町園芸（菜園）講座の実施 など



屋上庭園



基町SC屋上



春のグリーンフェア
（中央公園自由広場）

6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり

【新たな取組など】

■地域のマップづくり

- ・資源の再発見（地域の宝さがしフィールドワークなど）
- ・安全・安心、健康づくりや暮らしの情報の検討など

■もとまち歴史文化のまちめぐり

- ・案内板、説明板等の設置
- ・中央公園、広島城跡など含めたコースづくりなど

※行政の支援：マップづくり、資料・情報提供、案内板・説明板等の設置など

■建築や眺望などの活用・名所づくり

- ・基町ツアー（地域として協力：屋上庭園の一時的開放など）
- ・周辺を含めた街の観光・回遊の名所づくり、コースづくり



左から
 ・屋上庭園からの眺望
 ・陸軍病院跡（門柱）
 ・被爆エノキ（2世）
 ・被爆クスノキ

【短期で検討、中期に具体化を目指す】

■基町ものしり講座（仮称）の開催の検討

- ・基町の歴史的な価値・意義を周知、魅力再発見（地区内外）
- ・基町を知ることによって愛着や誇りを醸成（主として地区内）

7 にぎわい再生（商店街等）

【新たな取組など】

■定期的な“市”『基町バザール（マルシェ）』の開催

■基町アートロード、アートによる魅力づくり

- ・まずは、シャッターのデザイン化（シャッターアート）
- ・基町SCの入口付近への壁画製作

■特色と魅力ある商店街づくり

- ・登録アドバイザーの活用 など

※行政の支援：施設・設備の維持管理と更新、必要な案内表示の設置、広島市及び国の制度（補助金）、登録アドバイザーによる支援
 入店条件の見直し・エリアごとの業種設定の検討



シャッターの閉まった基町SC



壁画（広島拘置所）

【短期で検討、中期に具体化を目指す】

■組織的運営による魅力ある店舗づくりの検討

■駐車場の再整備と有効活用の検討



高知市「ひろめ市場」



かごつま ふるさと屋台村

8 人・組織づくり

【新たな取組など】

■コミュニティを中心としたまちづくり推進体制の構築

■商店街等における組織の再構築

■人材活用・育成とボランティア体制の構築

- ・知識や技術・技能を持つ人、役に立ちたいと思っている人の把握と登録・活用
- ・高齢者の見守りを支える人の輪を広げる（ほのほのサロン、見守りネットワーク）
- ・中国語（通訳）のできる人の登録・活用 ・学生ボランティア など

※行政の支援：学生ボランティアの支援 など

■基町情報の発信（PR）・共有化

■基町応援団づくり（学生ルームシェア（地域再生計画（目的外使用）を検討））

【短期で検討、中期に具体化を目指す】

■事業組織の設置の検討

- ・地域貢献を軸とした事業の視点（コミュニティビジネス）
- ・配達（食事、食材・日用品、新聞、灯油、宅配便など）及びそれと合わせた見守り、災害時の支援
- ・高齢者（生きがい活動・就労）及び学生などからの人材の確保
- ・多様な形での出資

■基町研究室・資料室の設置の検討

- ・空き店舗の利用：研究・学習・作業、ギャラリー・展示、交流・サロン、収納などのスペース
 - ・画像、映像、パネル、模型などの展示及び閲覧
 - ・大学等の協力・参加、学生ボランティア
 - ・基町研究：都市・建築、福祉・介護、子育て、異文化交流など
- ※行政の支援：空き店舗の利用（提供）

すぐに(短期に)着手・具体化を目指す取組(主として新たな取組)

<組織・人づくり、全体的な取組(住民等が参加、担い手及び広島市と連携)>

- コミュニティを中心としたまちづくり推進体制の構築
- 商店街等における組織の再構築など
- 人材の活用・育成とボランティア体制の構築
- 基町応援団づくり → 基町研究室の設置
- 高齢者の生きがい活動・就労
- 地域のマップづくり
- もとまち歴史文化のまちめぐり ※案内板・説明板等の設置を含む
- 建築や眺望などの活用・名所めぐり
- 基町ものしり講座の開催の検討

<広島市の取組>

- 施設・設備の維持管理
- 地域再生計画(目的外使用)の検討
- 地区のまちづくり活動などへの支援
 - マップづくり、花いっぱい、基町農園づくり、シャッターのデザイン化などの支援
 - 区の魅力づくり事業：まちなかの水と緑のプロムナードづくり事業、キッズ・タウンづくり事業、いきいき・やすらぎのまちづくり事業
 - 支援制度の紹介・活用促進：商店街の活性化(市、国)

福祉・介護の拠点づくり(デイサービスセンター等の設置)

○地区内でデイサービス(空き店舗等の活用)

屋上庭園の活用

- 「広島みなと夢花火大会」のとき、一時開放
- ・見通しの良いコア(場所)を決めて具体化
- サツマイモ・カボチャなどの作付け(基町農園)、花づくり
- 基町ミツバチの飼育の検討→ハチミツを生かした特産品づくり

一緒に、収穫祭、基町ハロウィン

基町ショッピングセンターの屋上の緑地等の活用(花いっぱいの基町、基町農園)

■花いっぱいの基町

- 段状花壇の活用→花の植え付け
- 基町ショッピングセンター屋上での花づくり
 - ・カンナ、コスモス、フラワーフェスティバルに基町小学校が提供した花(ポットの花)

■基町農園

- まずは、南東側のエリアで農園づくり
 - ・除草・整地・区画づくり(木の枠など)
 - ・区画に土入れ
- サツマイモ、カボチャなどの作付け

子どもたちの活動の場・居場所づくり

- 基町ショッピングセンター屋上の広場の有効活用
 - 環境美化：広場や周囲を明るく、美しく、安全にする
- 中央公園芝生広場等でのボール遊び(曜日、時間帯)
- 小学生の居場所、中高生の居場所づくり(宿題・勉強、読書、遊び)

周辺を含め「森の学校」のような取組を検討(自然観察、体験学習、「森」を生かした遊び・工作など)

参考
○樹林帯に常設の「冒険遊び場」を設置する案があります。(短期的な取組)

定期的な「市」『基町バザール(マルシェ)』の開催

- まずは「フリーマーケット+α」
- 会場：中央の広場…色んな所での開催も検討
- 参加の輪を広げ、多様な効果の発揮を目指す

基町アートロード、アートによる魅力づくり

- まずは、シャッターのデザイン化
 - ・基町高校、市立大学などの協力
- 東側の壁面(道路沿い)のデザイン化(壁画)

「特色と魅力ある商店街づくり」に展開



4 活性化策の全体メニュー

本表に掲げる取組は、短期、中期の取組と合わせて、これらの取組の状況等を踏まえ、適切な時期に検討を行う取組を示しており、現時点では困難なもの、検討会等構成員からの提案で庁内関係課や関係機関と協議・調整が必要なものも含む。

テーマ (取組の方針)	(主として)地域・民間が取り組むもの	地域・民間等と行政が協働で取り組むもの	(主として)広島市が取り組むもの
1 多世代・多様な世帯の居住の促進	—	—	<p>■若年家族、子育て世帯等の入居促進～地域再生計画（目的外使用）を検討～…★短期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若年夫婦、子育て世帯向け住宅（優先入居） ○若年夫婦、子育て世帯の収入基準の緩和（上限値の適用） ○家族構成を考慮した住戸改善 ○多様な収入階層の入居促進：収入基準の上限値の適用 <p>■住戸改善と多家族世帯の入居促進（継続・拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多家族世帯向け住宅（優先入居、継続・拡充）
2 高齢者等が安心・快適に暮らせるまちづくり	<p>■多彩な交流サロンの運営と連携（継続・拡充、新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ほのぼの基町の運営・活用 ○創作とものづくりを合わせたサロンづくり ○趣味を共有できる場づくり（手芸、将棋、カラオケ、グランドゴルフなど） →「4 多様な文化が交流できるまちづくり」…「創作とものづくり（アーツ・アンド・クラフツ）の場と機会の確保」とも関連 ○デイサービスと合わせたサロンづくり など <p>■高齢者の生きがい活動・就労（主として新規）…★短期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○技術・技能の活用（高齢者等の支援） ○屋上農園づくり（広島市の支援が必要） ※これまでの高齢者を中心とした屋上庭園の活用を継承・拡充 ○昔の遊びなどを子どもたちに教え、一緒に活動 	<p>■高齢者見守りネットワークの強化（継続・拡充）</p> <p>■健康づくり・レクリエーションの場・コースの充実と活動展開（子ども～高齢者）…中期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既存施設の有効活用 ○健康づくり・レクリエーションマップ等の作成 ○日常的な活動、イベントなどの開催 ※短期「地域のマップづくり」、中期「もともち歴史文化のまちめぐり」に含んで具体化を検討 <p>■防災・避難体制の充実・強化（継続・拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害時要援護者の避難支援体制の充実・強化 ○災害に強い環境整備 <p>■福祉・介護の拠点づくり（デイサービスセンター等の設置）…★短期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地区内での通所介護サービス等の確保 ○食事、風呂、サロン、機能訓練、趣味・創作・レクリエーション ○空き店舗等の活用（広島市：使用条件・申込み資格の再検討） ○介護事業者の参画、関係団体等との連携 ○高齢帰国者の福祉対策：中国語が分かる福祉職の確保 <p>■空き住戸の活用、住戸改善を契機とした福祉・介護等の場づくり（目的外使用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集会所等の整備 ○福祉・介護サービスの実施（例：ミニデイサービス） 	<p>■超高齢社会に対応した居住の仕組み～地域再生計画（目的外使用）を検討～…★短期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シルバーハウジング・プロジェクト：（高齢者生活相談所の設置、生活援助員の派遣） ○空き住戸のふれあいの場としての活用（高齢者等、子育て世帯の支援） ○高齢者などの共同居住（ルームシェア）：支え合い、孤立死の防止 <p>■市営店舗の使用条件・申込み資格の再検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「福祉・介護の拠点づくり」などに関して再検討 ○地域再生計画（目的外使用）による具体化も検討 <p>■高齢者に配慮した住宅整備（継続・拡充）</p>
3 子育てしやすいまちづくり	<p>■子どもたちに遊びを教える活動…★短期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者等による遊び教室などの開催（昔の遊びなどを教え、一緒に体験） ○3世代遊び場マップ作成と活用（昔の遊びの場所、体験など） ○昔の遊びのイベント（年数回） ※「子どもたちの活動の場・居場所づくり」で具体化 <p>■ほのぼの文庫基町の運営・活用（継続・拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運営管理の（支援）体制の充実・強化 	<p>■子どもたちの活動の場・居場所づくり…★短期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な公園・広場の再整備・魅力づくり（基町SCの屋上など） ○中央公園における遊び場（ボール遊びなど）の確保（曜日・時間帯など） ○小学生の居場所、中高生の居場所づくり（宿題・勉強、読書、遊びなど） ○中央公園での「冒険の森」（計画）の具体化と合わせた都心における『森の学校』の活動（中央公園一帯での『森の学校』：体験、学習、遊び、交流など） ○子育ての場の確保・活用、屋内の遊び場の確保 ○高齢者等による見守り ○空き住戸の活用等による子育て支援（地域再生計画（目的外使用）） ・ファミリーサポートセンター等（大阪市：コミュニティビジネス拠点として住戸を活用） <p>■子どもの見守りと防犯体制の充実・強化（継続・拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見守りカメラ（警察庁からカンナクラブに管理委託） ○ふれあい安全推進隊（高齢者による子どもの下校時の見守り） <p>■保育所・幼稚園・小学校・児童館等が連携した（活用した）子育て環境の整備・充実（継続・拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基町小学校のブランド化：異文化交流・相互理解、日本語教室、平和学習、地域支援 ○保育園、幼稚園（小学校）中学生までの子育てシームレス化 ○心の元気の育成（清掃活動） ○「ふれあい安全推進隊」の活動、「見守りカメラ」の評価 ○「基町ソーラン」「バイオリン隊」の活用 ○充実した子育て環境のPR ○カンナクラブなどとの連携 	<p>■若年家族、子育て世帯等の入居促進：再掲</p> <p>※行政の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援相談員による相談、助言 ○区の魅力づくり事業：キッズ・タウンづくり事業

テーマ (取組の方針)	(主として)地域・民間が取り組むもの	地域・民間等と行政が協働で取り組むもの	(主として)広島市が取り組むもの
<p>4 多様な文化が交流できるまちづくり</p>	<p>■ほのぼの文庫基町の運営・活用(継続・拡充:再掲) ■創作とものづくり(アーツ・アンド・クラフツ)の場と機会の確保…中期 ○地域の人材(高齢者の経験なども)の活用、空き店舗等の活用、活動の場・機会の確保 ○まずは楽しむことから(趣味を共有)→店舗やフリーマーケットなどでの販売 ○外国の文化・ものづくりの体験機会の確保 ○デイサービスでの趣味・工作などの場の確保</p>	<p>■異文化交流・相互理解の取組(継続・拡充) ○小学校、社協などの活動の地域での展開(拡充)、連携 ○国際交流の視点も取り入れたイベントの開催 ○意見交換や交流する場・機会の確保 ■外国人・帰国者のサポート・交流の仕組みづくり…★短期 ○中国語通訳者の確保 ○日本語教室 ○入居時ルールとマナー教室 ○帰国者の集まれる場の確保 ○案内表示、生活ガイドなど(主として広島市) ○外国人・帰国者との交流 ■公民館活動等の発表会の年中行事化(継続・拡充) ○日中双方の発表会 ○子どもたちの発表も合わせて実施</p>	<p>■異文化交流・相互理解等の施策(継続) ※行政の支援 ○広島市等の事業・制度の情報提供、利用促進 ・外国人市民の生活相談コーナー ・通訳ボランティアの登録制度、ボランティア通訳者研修会、日本語教室 ・外国人市民のための生活ガイドブック(中国語など6言語) ・ゴミの出し方などの情報提供(多言語) ○必要な案内表示の設置</p>
<p>5 団地共用空間の再編・活用</p>	<p>■屋上庭園の活用…★短期 ○花火大会のときなどの開放 ○安全対策 ○基町園芸(菜園)講座(広島市の支援:開催)…基町ショッピングセンターなどでの「基町農園」や「花いっぱい」と一体で取り組む ○基町農園(イモ、カボチャ等) ○ミツバチの飼育(基町ミツバチ)→ハチミツの活用 ○収穫祭(子どもも参加) ○収穫物を生かしたイベント(基町ハロウィン) ○場所は地図を持って検討 ○広島市と協議・調整 など ■花いっぱいの基町づくり(もとまちフラワービレッジ、花いっぱい運動)…★短期 ○「屋上庭園の活用」「敷地の修景・魅力づくり」「基町ショッピングセンター屋上の緑地の活用」などにおいては、花いっぱいの観点からも取り組む</p>	<p>■敷地の修景・魅力づくり ○身近な公園・広場の再整備・魅力づくり ○ピロティ等の修景・魅力づくり(住民・大学等の参加・協力) ■基町ショッピングセンター屋上の緑地等の活用…★短期 ○基町園芸(菜園)講座(広島市の支援:開催):「屋上庭園の活用」を参照 ○畑・花壇の区画づくり、プランター(木製など)での栽培 ○イモ畑など(子どもも参加) ○四季折々の花 ○通路の両サイドに花:カンナの花など ○安全対策を行い、開放を検討 ○青空サロンづくり(交流、憩いの場) ○フジ棚の再整備 ■白島新駅～基町ショッピングセンター等～県立体育館・旧球場跡地方面をつなぐ動線づくり…★短期(短期「特色ある商店づくり」,「基町アートロード、アートによる魅力づくり」の中で着手を検討) ○白島新駅、城北駅から基町住宅地区(店舗)への誘導の仕組みづくり ○基町ショッピングセンターの通りなどのネーミング ○平和の軸線を生かした歩行者動線の整備(基町小学校付近～芝生広間～県立体育館)など ■市営住宅の目的外使用による全自治会の集会所の確保(民間との連携・協働も検討) ■駐車場の再整備と有効活用(再掲)→「7 にぎわい再生(商店街等)」で説明</p>	<p>■県営住宅廃止を踏まえた土地活用等の検討 ○地元の意見の把握・検討 ■団地やその周辺の共用空間・道路・通路のバリアフリー化とネットワークの充実…中期 ○地区住民等が参加するワークショップの実施などによる検討 ○バリアフリー化 ○実際によく使われている動線(通路等以外)も検討 ■中央集会所等の再整備 ○トイレ等のバリアフリー化 ○トイレの男女別整備 ■駐車場の再整備と有効活用 ○民間との連携(民間活力)・協働を検討→下記(再掲)を参照 ■基町小学校・保育園・幼稚園・福祉の拠点、その他(ユニター等)の複合施設化の検討 ■基町小学校へのソーラーパネルの設置(エコのまちづくり)の検討 ※行政の支援 ○区の魅力づくり事業への位置づけ(花の苗、用土、肥料等の提供)など</p>

テーマ (取組の方針)	(主として)地域・民間が取り組むもの	地域・民間等と行政が協働で取り組むもの	(主として)広島市が取り組むもの
<p>6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり</p>	<p>■川や水辺の活用 ○船を使ったによる基町の再発見(イベント) ○その他、川や基町環境護岸を生かしたイベントの検討、参加(関係団体等との連携も) ○中央公園の堀川の活用(堀川の生き物さがし等) ○安全対策</p> <p>■基町ブランドづくり ○基町の菓子・名物 ※基町ミツバチが具体化すれば、そのハチミツを活用 ○基町の歴史や物語の本・DVD ○PR・売り込み戦略の検討</p>	<p>■地域のマップづくり…★短期 ○資源の再発見(地域の宝さがしフィールドワークなど) ○安全・安心、健康づくりや暮らしの情報の検討など</p> <p>■もとまち歴史文化のまちめぐり…★短期 ○資源の再発見(地域の宝さがしフィールドワークなど) ○説明板・誘導標識 ○探訪マップ(上記「地域のマップづくり」と連携)</p> <p>■建築や眺望などの活用・名所づくり…★短期 ○基町ツアー、建築探訪の地域としての協力、ルールづくり ○基町ショッピングセンター等での食事・買い物(それに対応した店舗づくり) ○季節、時間なども意識した名所づくり(都市景観と瀬戸の島々、季節ごとの…、月見、初日の出など) ○周辺を含めた街の観光・回遊の名所づくり、コースづくり ○基町ガイドの育成</p> <p>■基町ものしり講座(仮称)の開催…★短期で検討 ○リレー形式で基町に関わる講座・学習、体験機会を確保する ・歴史文化:築城～被爆、被爆・復興 ・都市・建築:都市計画、再開発事業、建築(復興ともリンク) ○講師・話題提供:学識経験者、事業に関係した人、地区住民など</p>	<p>—</p>
<p>7 にぎわい再生(商店街等)</p>	<p>■組織的(共同)運営による魅力ある店舗づくり(「特色と魅力ある商店街づくり」(短期)で一部着手を検討)…★短期で検討 ○店舗の共同経営 ○100円ショップ的な店 ○常設のフリーマーケット(引越等で不要になったものなども) ○手芸・手仕事の品の展示・販売</p> <p>■生活支援・コミュニティビジネスの展開(居住者ニーズに対応した業種・業態の店舗づくり) ○高齢者等のニーズへの対応(買い物支援、宅配体制づくりなど) ○その他生活支援(食事、理美容など) ※「事業組織の設置」(「8人・組織づくり」)でも検討</p> <p>■定期的な“市”『基町バザール(マルシェ)』の開催…★短期 ○定期的な“市”(イベント)の開催 ○中山間地域(農林産物)、瀬戸内海・日本海沿岸地域(魚介類)との連携・販売を既存の店舗も行うことを検討 ○帰国者の人などの参加(国際交流マルシェ) ○既存店舗も参加、商店街等ぐるみでの開催</p>	<p>■基町アートロード、アートによる魅力づくり…★短期 ○デザイン化したサインの整備 ○シャッター等のデザイン化(絵)など ○市立大学、比治山大学、基町高校などとの連携</p> <p>■特色と魅力ある商店街づくり…★短期 ○一定のスペースでエスニック、多様な文化を体感できる飲食店、お好み村の特色づくり ○国際色豊かな食堂・レストラン(街)づくり ○個々の店舗の自助努力(商品、サービス、もてなし) ○基町ショッピングセンターをわかりやすく(開かれたイメージ)、バス通り側のシースルー化・デザイン化 ○わかりやすい案内板の設置 ○基町PRの推進 ○商店会の意向を反映した出店 ○通りの名称づけ、シャッター等のデザイン化(アート) ○白島新駅の整備を考慮した店舗・商店街づくり ○起業やチャレンジショップ等の出店の支援 ・若い人などが入店し、起業(商売)できる条件づくりや支援 ・チャレンジショップ等の出店及び経営・運営支援 ○安全・セキュリティの体制づくり</p> <p>■駐車場の再整備と有効活用(再掲)…★短期で検討 ○地下駐車場の再整備と有効活用(白島新駅の整備も考慮した検討) ○運営管理の一体的な体制づくり(民間委託:指定管理制度など)</p>	<p>■市営店舗の利用実態・意向の把握 ■市営店舗の使用条件・申込み資格の再検討(再掲) ■店舗関連施設・設備の再整備の検討</p> <p>※行政の支援 ○施設・設備の維持管理と更新 ○必要な案内表示の設置 ○広島市及び国の制度(補助金)の活用を検討 ○登録アドバイザーによる支援 ○入店条件の見直し・エリアごとの業種設定の検討</p>
<p>8 人・組織づくり ※全体に関係</p>	<p>「基町住宅地区活性化検討会、コミュニティ活性化検討部会・商店街活性化検討部会」が母体となった組織づくり ↓ ■コミュニティを中心としたまちづくり推進体制の構築…★短期 ■商店街等における組織の再構築…★短期 ※基町住宅地区全体での推進組織づくりも一体的に進め(コミュニティ・商店街等の連絡調整・連携、事業推進) ■事業組織の設置…★短期で検討 ○地域貢献を軸とした事業の視点(コミュニティビジネス) ○配達(食事、食材・日用品、新聞、灯油、宅配便など)及びそれと合わせた見守り、災害時の支援 ○高齢者(生きがい活動・就労)及び学生などからの人材の確保 ○多様な形での出資</p>	<p>■人材活用・育成とボランティア体制の構築…★短期 ■基町応援団づくり…★短期 ○学生ルームシェア(地域再生計画(目的外使用)を検討)</p> <p>■基町情報の発信(PR)・共有化…★短期 ■安全・セキュリティの体制づくり ※「特色と魅力ある商店街づくり」で検討</p> <p>■基町研究室・資料室の設置…★短期で検討 ○大学等の協力・参加 ○複数の大学等の連携:都市、建築・福祉・介護、子育て、異文化交流・相互理解など ○大学等と地域の交流 ○基町研究(都市・建築、歴史、生活文化、異文化交流・相互理解、高齢社会…)と情報提供の拠点→研究成果の活用・実践 ○空き店舗の活用</p>	<p>※行政の支援(基町研究室・資料室の設置) ○空き店舗の利用(提供) ○学生ボランティアの支援 など</p>

5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～（主として）新たな取組～

高齢者の生きがい活動・就労

テーマ	2 高齢者等が安心・快適に暮らせるまちづくり（一部「3 子育てしやすいまちづくり」に関係）
取組名称	高齢者生きがい活動・就労
目的	高齢者の知識・知恵、経験を生かしながら、いきいきと活躍できるまちをつくる。
内容(概要) ※中・長期の内容を含む	<p>1 屋上庭園・空きスペースの農園化（野菜、花）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を中心としたチームづくり(他の取組も) ・広島市等の協力による農業、園芸指導、土づくりなどの支援 ・作物の活用:子育て世帯などへの提供、収穫祭(子どもなども参加) <p>2 高齢者による出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園、小学校での出前講座など <p>3 子どもの見守り（継続・拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAなどと連携した取組 <p>4 出前修理・点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネスまたは高齢者支援の観点からの修理・修繕への対応 <p>5 ものづくり・創作の場での指導・実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗を活用した「創作とものづくりの場(アーツ・アンド・クラフツ)」と連動した取組 <p>6 事業組織へ的高齢者等の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献を軸とした事業の視点(コミュニティビジネス) ・配達(食事、食材・日用品、新聞、灯油、宅配便など)及びそれと合わせた見守り ・災害時の支援 <p>※「基町ショッピングセンター屋上の緑地の活用」や「屋上庭園の活用」と連動</p>
手順 着手時期	<p>○短期に着手すること：上記の1、2（3は継続・拡充）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1については、既存の花壇等を利用して早期に着手(継続・拡充) <p>○中期（以降）に着手すること：上記の4、5、6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期的に取組内容や担い手の確保などを検討し、中期での具体化を目指す。
担い手・体制	<p>○元気な高齢者</p> <p>○修理・点検などは、技術・技能等を有する高齢者</p> <p>○自治会・老人会を中心にグループづくり</p>
支援者・連携	<p>○広島市農林水産振興センター</p> <p>○子ども会など</p> <p>○連合自治会で情報の提供・共有化</p>
手法・支援策	○公益信託広島市まちづくり活動支援基金（ふむらむ）などの活用
資金	<p>○自治会・老人会の予算</p> <p>○不足分を寄付や上記の基金の活用などで対応</p>
場所、道具、 設備機器	<p>○屋上庭園</p> <p>○基町ショッピングセンター屋上</p>
期待する効果	○元気な高齢者の増加と人材活用 ○ふれあい、世代間交流 ○安全・安心の確保
具体化の課題	<p>○担い手・参加者の確保（呼びかけ、情報提供、啓発）</p> <p>○材料、資金の確保</p>
参考(事例等)	<p>○南区旧宇品線跡地→事例紹介</p> <p>○UR都市機構：豊四季台地区（団地）…千葉県柏市：長寿社会のまちづくり→事例紹介</p>

事例：旧宇品線跡地の活用（農園、パークゴルフ場などとして活用）



従前の旧宇品線（宇品東）

ワークショップでの提案づくり

畑づくり（枠などは広島市の支援）

サツマイモの苗の植え付け

収穫

収穫祭（収穫したイモを入れた豚汁）

事例：UR都市機構：豊四季台地区（団地） 出典:長寿社会のまちづくり(柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会)
※UR都市機構 千葉地域支社HPより

② ミニ野菜工場 ③ 屋上農園

- 高齢者にとって自宅のすぐそばで気軽に楽しく働ける場所があることは望ましい。
- 休耕地農業同様に、「緑(植物等)」と向き合うことは高齢者の心身にとってプラスの効果が期待される。家庭菜園が高齢者の趣味として人気が高いように、緑と接する職住接近した就農事業を地域内に設ける。
- 地域内の様々な空きスペースを有効活用することも地域の一つの課題であり、地域活性化の一策



テーマ	2 高齢者が安心・快適に暮らせるまちづくり
取組名称	福祉・介護の拠点づくり(デイサービスセンター等の設置)
目的	基町住宅地区内に通所介護等の施設を確保し、高齢者の安心とふれあい・交流の環境を高める。
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○基町ショッピングセンター等に介護保険の通所施設（デイサービス、デイケア、小規模多機能）を現地域包括支援センター等とセットで整備（機能については今後検討） ○場所としては、基町ショッピングセンターの空き店舗等の活用、あるいは他の商店街等の空き店舗の活用 ○食事、風呂、サロン、機能訓練、趣味・レクリエーション等の場を確保する。 ○健常高齢者も集まれるサロンのような場も設け、要介護認定者等を含めた交流を促進する。 ○健常高齢者、介護予防、要介護者、要見守り単身高齢者など、高齢者福祉のシームレス化＝高齢者福祉の窓口一本化 ○社協・民生児童委員・地域包括支援センターの連携体制の確立 ○高齢帰国者の福祉対策：中国語が分かる福祉職の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢の中国帰国者は日本語が分からず、困ることが多い。 ・それをサポートする中国語が分かる福祉職が必要 ・一方、日本語が分からないため失業生活から抜け出せない若い帰国者もいる。 ・福祉事業所がヘルパーの資格取得指導
手順 着手時期	<ul style="list-style-type: none"> ○広島市との協議、目的外使用の調整、場所の検討・調整、建築基準法・消防法との調整、構造的な確認、事業参画者の検討などが初期の段階で必要。 ○平成25年度から可能性の検討などを行い、それから3年程度での開設を目指す。
担い手・体制	○介護事業者による運営
支援者・連携	○地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、地域包括支援センターとの連携体制を構築する。
手法・支援策	○市営店舗の目的外使用
資金	<ul style="list-style-type: none"> ○内装や設備・備品等に多額の費用がかかる。 ○事業者による資金の確保。
場所、道具、 設備機器	○空き店舗等の活用（広島市：使用条件・申込み資格の再検討）
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ○多数の要介護・要支援認定者がいることから、それらの人の利便性・快適性が高まるとともに、移動の負担も軽減される。 ○地区住民同士の交流が生まれ、支え合いのまち（絆）が深まり、コミュニティの活性化にもつながることが期待される。 ○地区外の多数の施設を分散的に利用している現状と比べ、介護サービスの効率化やエネルギー消費の軽減が図られる。
具体化の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○市営店舗利用の基準との調整、目的外使用の検討。建築基準法・消防法との調整。 ○基町において実施する理由、必要性などの明確化。 ○福祉施設の要件（規模、設備等） ○中心を担う福祉事業所の存在 ○基町ショッピングセンターの空き店舗のスペース集約 ○社協・民生児童委員・地域包括支援センターの連携体制の確立 ○健常高齢者の参画方策
参考(事例等)	<ul style="list-style-type: none"> ○神戸市：空き住戸等を活用した高齢者自立支援拠点（あんしんすこやかルーム）の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの出先となる高齢者自立支援拠点を設置 ・見守り推進員(社会福祉士、介護福祉士、ヘルパー等の有資格者)が週3日滞在

基町にデイサービスセンター(福祉・介護の拠点)ができたなら！！

- 超高齢化のまちで、歩いて通えるデイサービス→安心・快適な環境
- 声をかけ合って通えるデイサービス、同じまちに住む人が通うデイサービス→コミュニティの場でもあるデイサービス
- 地区内の家族や知人が、気軽に訪ねられるデイサービス
- 通う時間が短いので、朝早くから夕方遅く(開設時間いっぱい)まで利用できるデイサービス
- 訪問サービスとデイサービスで安心と暮らしやすさアップ

↓

地元から要望しよう“基町にデイサービスを”！！



【デイサービスの1日のプログラムの例】

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00～
	入浴・体操・個別リハビリ その他運動・レクリエーション ※センター到着後、健康チェック、お茶		昼食		休憩 ※ベッド ルーム・個室あり	運動(個別リハビリ) 入浴、各作業・レクリエーション (映画鑑賞、演芸、趣味、工作、散歩等) 入浴		休憩 お茶 お話し 歌の集い		利用時間の延長・短縮なども可能
送迎 (自宅から)									送迎 (自宅まで)	

通所介護(デイサービス)とは

デイサービスセンターに通い、さまざまなレクリエーションのほか、食事や入浴といった生活援助サービスを合わせて受けられるサービスです。閉じこもりがちな要介護者が外出して、家族以外の人と交流する機会としても有効です。

テーマ	3 子育てしやすいまちづくり
取組名称	子どもたちの活動の場・居場所づくり（+子どもたちに遊びを教える活動）
目的	<ul style="list-style-type: none"> ○安全、安心な地域づくりの一環 - 青少年の健全育成 ○様々な課題のある家庭の子どもを包摂するしくみ ○異文化交流・相互理解 ○基町小学校を卒業した後のフォローアップ+健全育成、非行防止 →子どものサポートは、基町全体の活性化につながる。 ○いきいきと安心して遊び、活動できる場の確保
内容(概要)	<ol style="list-style-type: none"> 既に構築されているものをより活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・基町小学校の特色ある取組 - 国際化、異文化交流・相互理解のモデル校、平和学習の拠点 ・地域の中の小学校-地域住民の集まる小学校 行事参加（基町ふれあいバザー・学習発表会） ・歴史的、社会的に存在意義の大きい基町小学校の良さを知ってもらう工夫 子育て世帯と子どもの健全育成 <ol style="list-style-type: none"> ①小学生の居場所 - 放課後の居場所と学習 基町文庫の活性化 子どもが集まって本を読む、宿題をする - 「うちの子から地域の子ども」 ②中高生の居場所づくり 既存の施設・場所を生かした魅力ある遊び場・活動の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場の一角などで、ボール遊びなどができる場所・時間帯の確保 ・既存の公園・広場、緑地の再整備と魅力づくり（住民、子どもたちの思いを取り入れた取組） ・屋内の遊び場の確保 子どもの見守りや活動を支える仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代や高齢者等が連携した子どもを支える仕組みづくり：PTA、カンナクラブ（小学生などの保護者有志の会）と見守りカメラ、トトロの会（読み聞かせグループ）、ふれあい安全推進隊（高齢者による小学生の見守り）の活動の継承と連携・拡充 ・見守り活動 ・遊びを伝える取組、一緒に遊び・交流する活動、3世代遊び場マップづくりなど
手順 着手時期	<ul style="list-style-type: none"> ○既存の団体等の連携 ○現在行っている取組の再評価と将来に向けた取組 ○遊び場・居場所点検と再整備・活用・魅力づくり提案→一歩一歩具体化
担い手・体制	<ul style="list-style-type: none"> ○既存の団体等の連携 ○参加の輪を広げる取組
支援者・連携	<ul style="list-style-type: none"> ○連合自治会や社会福祉協議会など地域活動団体 ○子育て・教育・福祉に関わる大学等 ○公園などの整備・魅力づくりの専門家
手法・支援策	○公園・広場等の再整備・魅力づくりに関する事業（広島市）
資金	○助成団体の資金の活用
場所、道具、 設備機器	○活動の場・居場所の候補：中央公園、その他公園・広場、空き住戸・店舗、学校、ほのぼの文庫基町など
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちがいきいきと活動し、遊ぶ環境が確保される。 ○子どもたちの基町への愛着が高まる。→ふるさと基町 ○子どもを通じて、地域の連帯やコミュニティの活性化につながる
具体化の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○活動への参加者、担い手の確保 ○活動の場・居場所の管理運営体制
参考(事例等)	<ul style="list-style-type: none"> ○京都市 青少年活動センター（京都ユースサービス協会） 自習室、会議室、各種教室、サークル活動、グループ活動 ○NPO 法人 山科醍醐子どもひろば→事例紹介 ○東京都の児童館 中高生タイム 17～20時 ○埼玉県朝霞市 市内の4つの児童館 中高生タイム 17時～19時まで（夏） ○公園再整備：仙台市、福岡市など多くの自治体実施 ○プレイパーク→事例紹介

事例：NPO 法人 山科醍醐子どもひろば

出典：「NPO 法人 山科醍醐子どもひろば」HPより

- 平成23年度事業費 約29,000,000円のNPO法人
 - 4つの柱(みんなで楽しむ、子ども向け企画、親向け企画、ボランティア向け企画)のもとに、こどもフェスタ、こどもの創作劇など20以上の事業展開
 - 「新しい公共支援事業」京都府委託事業
 - 中学生の居場所:のびのびらふ
 - ・ひとりで夕食を食べる中学生のための事業
 - ・大学生ボランティアがスタッフに夕食:お弁当(大学生と一緒に、銭湯へ)
- ※学校には行きにくいけど、のびのびらふにはくることができ子ども一高校受験の支援も行っている、高校進学達成、その後ボランティアスタッフとして戻って来る子もいる



京都市子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）

特定非営利活動法人 山科醍醐子どもひろば

日	月	火	水	木	金	土
		1 おやすみ	2 おやすみ	3 おやすみ	4	5
6 おやすみ	7 おやすみ	8 おはよう体操 10:30	9	10 ベビーマッサージ *11:00-12:00	11 朝顔 *12:50-13:50 *14:10-15:30	12 ハロウィン *11:00/14:00
13 ひなびた教室 13:00-16:00 (絵本の読み語り 15:50-)	14 おやすみ	15 おはよう体操 10:30	16 塚本先生のミニシアター 11:00	17 お正月遊び 11:00/14:00	18	19
20 おやすみ	21 おやすみ	22 おはよう体操 10:30	23 ひなびた教室 *11:00/12:00 /14:30	24 ベビーマッサージ *11:00-12:00	25 朝顔 *12:50-13:50 *14:10-15:30	26 カブ라의日 11:00/15:00
27 おやすみ	28 おやすみ	29 おはよう体操 10:30	30 赤ちゃんとお遊ぼう 11:00/14:00	31 朝顔食育体験日 (要申込・有料)		

※ 〇の日は、通常のげんきスポット0-3はお休みです。
※ *印の企画は、有料（要事前申込）です。

事例：プレイパーク（横浜市）

出典：横浜市環境創造局HPより

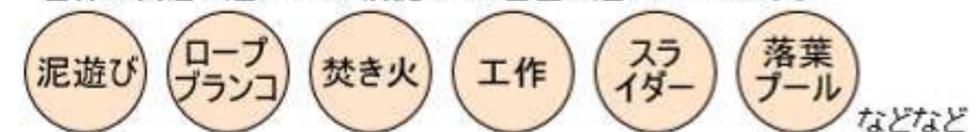
★プレイパークとは、子どもたちが思いっきり遊べるように、極力禁止事項をなくし、自分の責任で自由に遊ぶことを大切に活動です。



プレイパークの特徴

●様々な遊びができます

自分の責任で遊ぶことを前提にした自由な遊びができます。



公園内の地形や樹木を利用して、日常なかなかできなくなった遊びを通じて、子どもの自主性や冒険心を育みます。

テーマ	5 団地共用空間の再編・活用
取組名称	屋上庭園の活用
目的	基町高層アパートの特色の一つでもある屋上庭園を、安全・防犯・風紀の確保に留意しながら、一時的・定期的に開放するとともに、花づくり、基町農園づくりを進め、基町の暮らしや魅力、楽しさを高める形で利活用する。
内容(概要) ※中・長期の内容を含む	○花火大会のときなどの開放 ○安全対策 ○基町農園（イモ、カボチャ等） ○基町園芸（菜園）講座（広島市の支援：開催）…基町ショッピングセンターなどでの「基町農園」や「花いっぱい」と一体で取り組む ○収穫祭（子どもも参加）…基町SCなどでの「基町農園」と一体で取り組む ○ミツバチを屋上庭園で飼うことを検討 ○場所は地図を持って検討 など
手順 着手時期	○基町農園については、既存の花壇等を活用して作付けし、段階的に広げる。 ○平成25年度または26年度：花火大会のとき一時開放、イモ畑の拡大と収穫祭、カボチャの栽培と基町ハロウィン ○既存の花壇以外への基町農園の拡大については、広島市と協議
担い手・体制	○老人会、PTA ○実行委員会の設置 ○リーダーの確保
支援者・連携	○コア、自治会の連携 ○老人会+子ども会 ○特技を持った人の登録・活用 ○広島市、広島市農林水産振興センター ○連合自治会で情報の提供・共有化
手法・支援策	○公益信託広島市まちづくり活動支援基金（ふむふむ）などの活用
資金	○老人クラブの活動の継承・支援 ○助成制度の活用（制度による縛りを少なく）
場所、道具、 設備機器	○安全な場所の確保（必要に応じて柵の設置など）
期待する効果	○地域資源を生かした魅力づくり、基町での楽しみの創出、交流の促進などに資する。 ○高齢者をはじめ住民の元気づくり、楽しみづくり
具体化の課題	○安全対策：危険防止、子どもの安全 ○実相委員会など推進体制づくり ○らくらくガーデン（人数減、水やりが大変） ○ショッピングセンター屋上までのアクセスに屋根（雨でもぬれないように） ○茂みになるところの解消、木の根の解消 ○公園では木の根があり遊びにくい（基本的な整備） ○その他：野良猫対策
参考(事例等)	○UR都市機構：豊四季台地区（団地）…千葉県柏市・屋上農園

まずは、今年の「広島みなと夢花火大会」（宇品）を屋上庭園から見よう！



＜具体化のおおまかな流れ（参考例）＞

- 1 有志で声を上げよう、仲間を集めよう（実行委員会などをつくる）
- 2 企画（計画）をつくろう
 - 目的・ねらい
 - 開放する日時、場所
 - 呼びかけ
 - ルール、安全対策
 - 楽しい催し
 - 準備・役割分担、作業スケジュール
 - その他
- 3 連合自治会など関係団体、広島市と相談・調整・同意
- 3 呼びかけ（チラシの作成など）
- 4 当日：事前点検、事後点検
- 5 翌日などに清掃

企画書(計画書)
A4判・1～2枚程度

加えて、屋上庭園で基町農園を！・・・「基町ミツバチ」も実現できれば！

※ショッピングセンターの屋上で「基町農園」ができれば、そこも連携、一体的な運営管理を検討

現在の活動を少し広げて

- サツマイモの作付面積を拡大 ○カボチャなども植えては
- 子どもたちの参加→秋には収穫祭や「基町ハロウィン」の開催も
- ※基町SC屋上でも基町農園ができた場合は、連携して収穫祭、基町ハロウィンなどの開催を検討

屋上庭園などを活用して“基町ミツバチ”

- 東京都心でミツバチが育ち、蜂蜜がつくられています。
- 基町でもミツバチを！→「基町のみつ」として特産品開発も！！



屋上庭園
ル・コルビジユエ(20世紀の大建築家)が提唱した近代建築の5原則の一つです。彼の設計したフランスのマルセイユの集合住宅が有名で、今でも屋上庭園などが公開・活用されています。

テーマ	5 団地共用空間の再編・活用
取組名称	基町ショッピングセンター屋上の緑地等の活用(+もとまちフラワービレッジ)
目的	基町ショッピングセンター屋上の緑地を、美しい景観と出会い、交流、ふれあいが生まれる場として、地区のシンボリックな空間に再整備し、活用していく。
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○畑・花壇の区画づくり、プランター(木製など)の製作・設置の検討 ○基町園芸(菜園)講座(広島市の支援:開催) ○イモ畑、カボチャ畑(子どもも参加) ○通路の両サイドに花 ○安全対策、栽培・管理の説明を行い、開放を検討 ○青空サロンづくり(交流、憩いの場) ○昔はフジ棚があった(再生の検討) ○水道の確保(修理)…水道での水やりが自動でできるようにできれば ○収穫祭や花を生かしたイベントなどの開催 など
手順 着手時期	<ul style="list-style-type: none"> ○広島市との協議、担い手の確保・グループづくり、資金の確保など ○おおむね2～3年後の一部実現を目指す。段階的に広げていく。 ○ワークショップ等で方針づくり→段階的な整備→活用・維持管理
担い手・体制	<ul style="list-style-type: none"> ○老人会がメイン(活躍の場) ○PTA、子ども会なども参加 ○帰国者・中国の人の参加も促進(団体で対応)
支援者・連携	<ul style="list-style-type: none"> ○広島市農林水産振興センター(栽培技術などの指導) ○住民と小学校が共同で作業する ○地区住民、商業者 ○中山間地域の団体など(土の提供など)
手法・支援策	<ul style="list-style-type: none"> ○広島市から地元への管理委託 ○安全対策などの基本的な施設・設備の整備は広島市 ○助成金などの活用 ○連合自治会で情報の提供・共有化
資金	<ul style="list-style-type: none"> ○管理費(草刈り)の予算の活用 ○公益信託広島市まちづくり活動支援基金(ふむふむ)などの活用 ○その他民間の助成金の活用
場所、道具、 設備機器	<ul style="list-style-type: none"> ○基町ショッピングセンター屋上の緑地 ○道具を入れる倉庫の設置 ○憩いの場(青空サロン)とするためベンチ等の設置
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ○基町住宅地区の中央に、魅力ある空間、人々が交流できる場が確保されることによって、子どもから高齢者までが、ふれあい、つながり合い、支え合う環境がつけられる。 ○高齢者をはじめ、住民の楽しみ、生きがいづくりにつながる ○真下の基町ショッピングセンターへの人の流れが多くなることから、商業の活性化にも資することが期待できる。
具体化の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○柵の再整備(安全対策) ○安全上の理由づくり ○野良猫対策 ○空調室外機との調整 ○店舗の雨漏り対策 など
参考(事例等)	<ul style="list-style-type: none"> ○UR都市機構:豊四季台地区(団地)…千葉県柏市 ・屋上農園 ○南区西霞「霞フラワーガーデン」→事例紹介

事例：事業用地の暫定利用による花づくり(広島市南区：霞フラワーガーデン)

ルールは一つ「日曜の9時に参加した人が作業する」



雑草が生い茂る街路の事業用地



市と町内会が協定を結び活動開始。土地の下からは沢山の石が出てきました。それを利用して花壇づくり

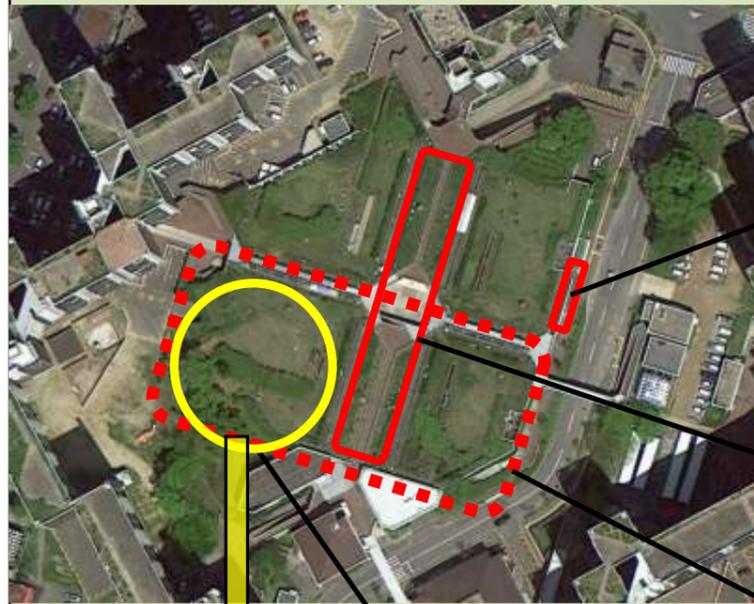


四季折々に花が咲き誇っています



隣の区画は「こどもフラワーガーデン」に。イモが植えられています。

基町ショッピングセンター屋上等の活用イメージ



花のゾーン(基町SC東側の段状花壇)

花のゾーン(帯)
・歩行者道に沿って花いっぱい
・カンナの花も
・アーケードへの転落防止など安全対策

花の植栽
・「子どもと高齢者のゾーン」などでも花の植栽を検討

子どもと高齢者のゾーン
・遊び、見守り、休憩、くつろぎ、交流
・広場、遊具、休憩施設、緑

遊び場の確保・魅力づくり

担い手:子ども会、PTA、連合自治会、社協などの地域活動団体+その他協力・支援者(→実行委員会等の設置)
広島市・中区の協力・支援



現在の広場
→広場の魅力づくり・有効活用

＜整備・活用案(イメージ)＞
環境美化:広場や周囲を明るく、美しく、安全にする
・広場のまわりに花を植える(花いっぱい)
・周囲にある切り株を除去
・ベンチの設置(間伐材などの利用):見守り・語り・交流
・フジ棚の再活用(一部にゴーヤ、ミニカボチャ、キーウィなどを植えることも)

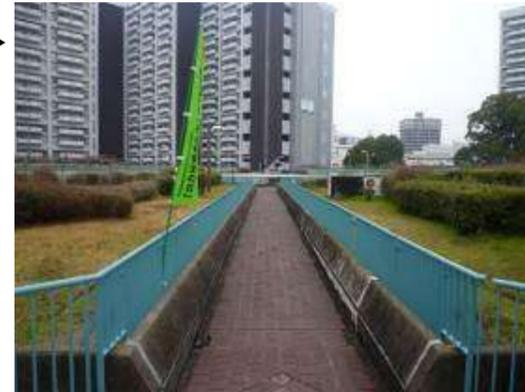
花いっぱいの基町

担い手:老人会、PTA、連合自治会、商店会等の地域活動団体+その他協力・支援者(→実行委員会等の設置)
広島市・中区の協力・支援



基町SC東側入り口付近の段状花壇

＜花いっぱい(案)＞
・花壇の活用
・壁面のデザイン化も検討(相乗効果の発揮)



基町SCの屋上の通路等

＜花いっぱい(案)＞
・通路沿いの緑地の一部、基町農園や広場の周辺に花を植栽



カンナをデザインした基町小学校のマスコット・キャラクター

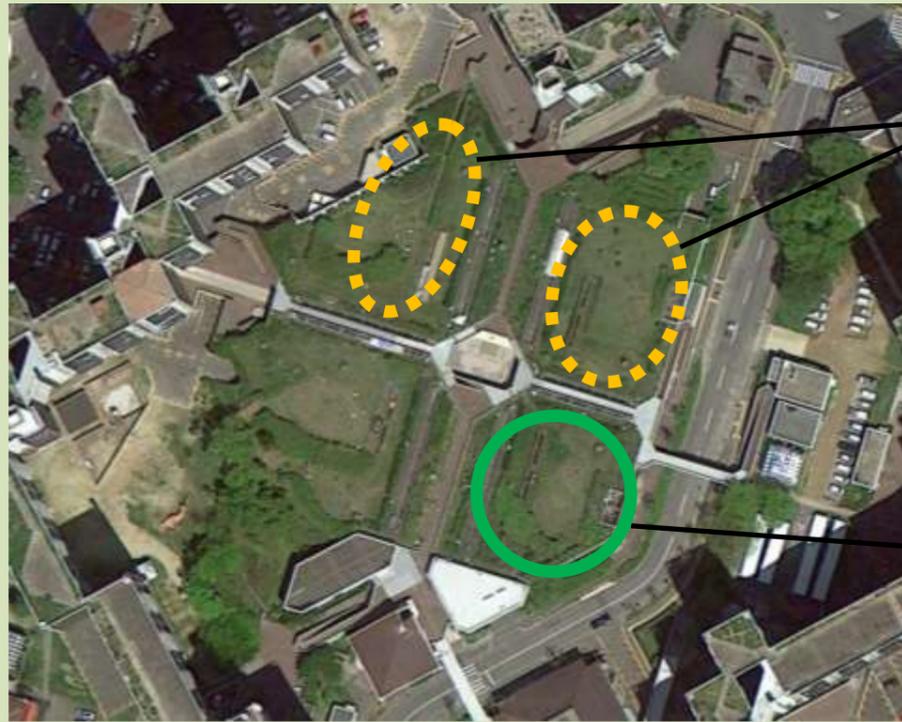
カンナの花:被爆直後の写真に写っていました(基町小学校付近)

区の魅力づくり事業:ボランティア花壇づくり制度



参加団体へ、花の苗、用土、肥料等の提供

基町ショッピングセンター屋上等の活用イメージ



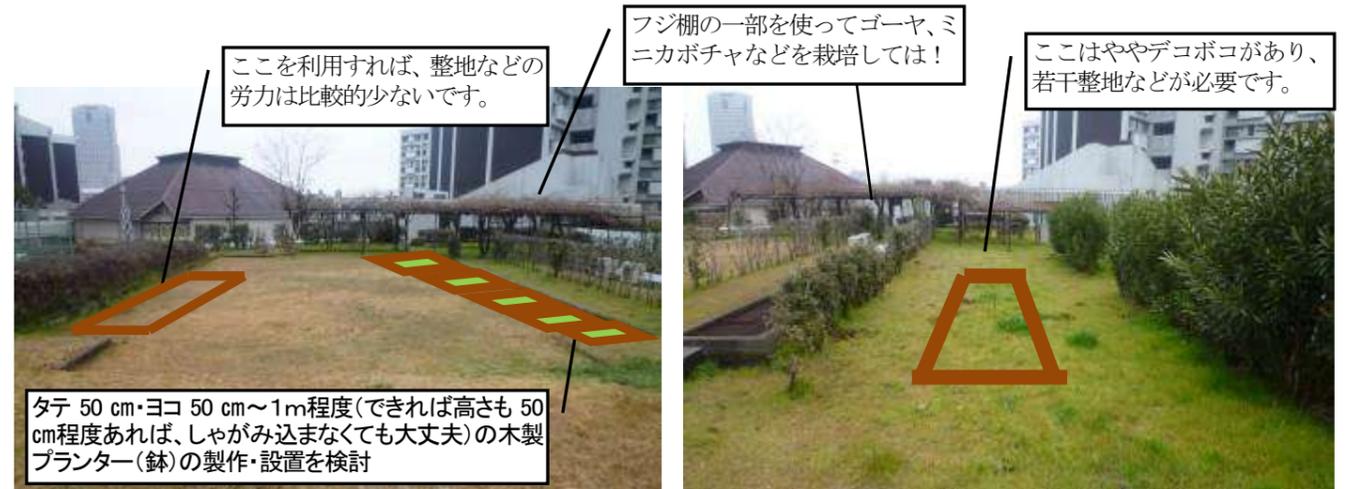
基町農園Ⅱ・Ⅲ
(中期的な取組)

基町SC屋上で収穫祭や“市”
の開催などイベントも

基町農園Ⅰ

- ・まずここから
- ・畑づくり
- ・水道の確保(修理)
- ・道具入れ、出入り口、休憩場所の確保

担い手: 老人会、PTA、連合自治会、商店会等の地域活動団体+その他協力・支援者(→実行委員会等の設置)
広島市・中区の協力・支援、中山間地域の応援団(間伐材、土の提供など)



タテ 50 cm・ヨコ 50 cm~1m程度(できれば高さも 50 cm程度あれば、しゃがみ込まなくても大丈夫)の木製プランター(鉢)の製作・設置を検討

<基町農園候補地：基町SC南東側ゾーン>

○除草・整地→○区画づくり(木の枠など)→○土入れ→○作付け→○管理→○収穫・イベント など

※畑・花壇としての区画づくりの他、タテ 50 cm・ヨコ 50 cm~1m程度(できれば高さも 50 cm程度あれば、しゃがみ込まなくても大丈夫)の木製プランター(鉢)の製作...一人または少人数の仲間で管理。小さい場合は移動可能なのでそのまま基町バザール等へ新鮮野菜や花を出品。ベランダでの栽培も可能

事例：宇品線跡地(宇品東)



畑づくり(枠などは広島市の支援)



収穫

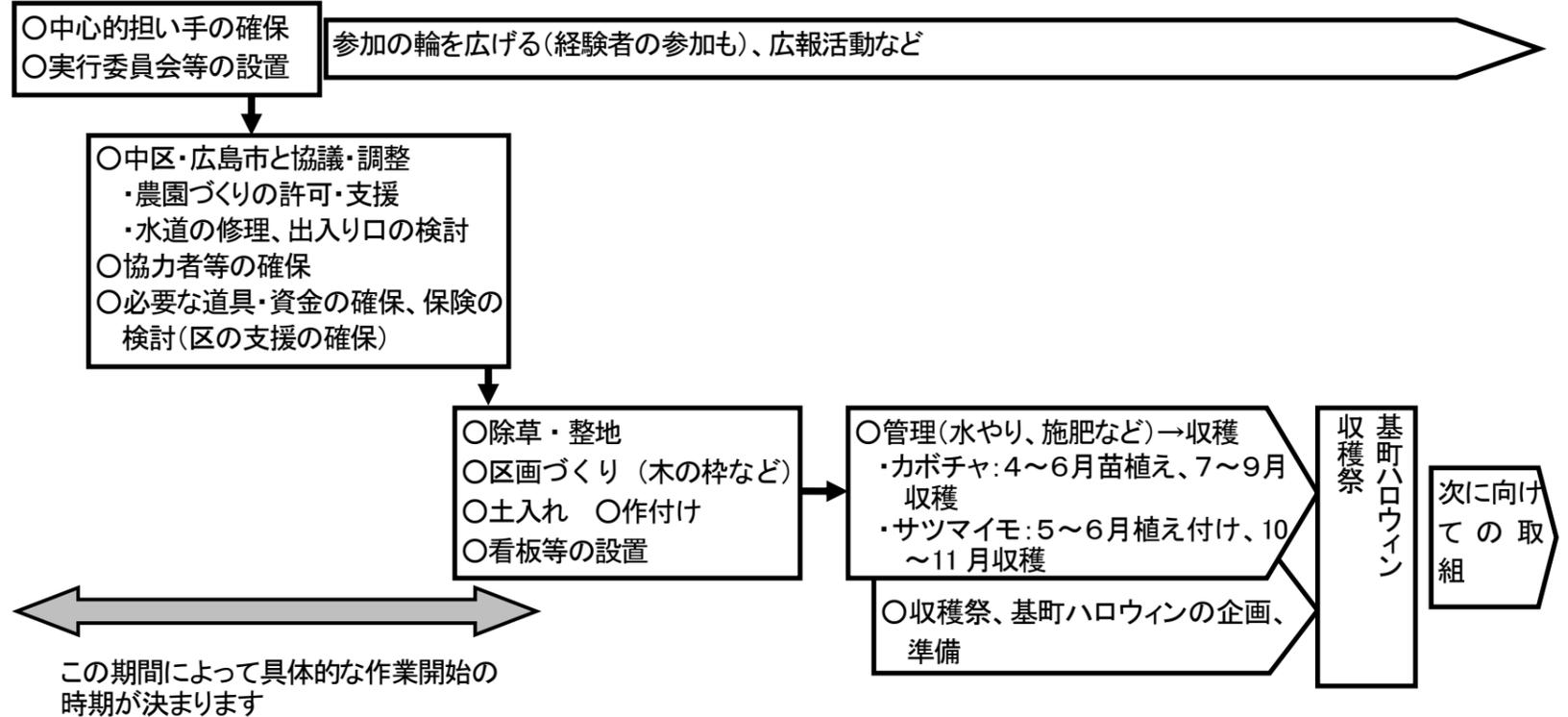


サツマイモの苗の植え付け



収穫祭(収穫したイモを入れた豚汁)

基町農園づくりのスケジュール(イメージ)



テーマ	6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり
取組名称	地域のマップづくり ※「健康づくり・レクリエーションの場・コースの充実と活動展開」、もとまち歴史文化のまちめぐり」におけるマップを含む
目的	子どもから高齢者まで地区住民等が参加するフィールドワーク“まち探検”を通じて、地域資源の再発見と把握を図り、それを生かしながら、地区住民はもとより、広く市民が利用したくなる「基町再発見・まちめぐりマップ」（仮称）を作成する。 さらに、次の段階として、防災や安全マップ、健康づくりや暮らしの便利マップ（手帳）などの作成を目指す。
内容（概要）	○資源の再発見（地域の宝さがしフィールドワークなど） ○安全・安心面などの暮らしの情報（安全・安心マップ）の検討 ○ワークショップなどを通じた「基町再発見・まちめぐりマップ」（仮称）づくり ○外国人にも配慮した暮らしに関する「基町・ものしり便利マップ（手帳）」（仮称）の作成
手順 着手時期	○「基町再発見・まちめぐりマップ」（仮称）は平成 25 年度の作成を目指す。そのためのフィールドワーク、ワークショップの開催。 ○安心・安全マップを含めた「基町・ものしり便利マップ（手帳）」（仮称）は今後3年を目途に具体化を図る。
担い手・体制	○連合自治会、地区社会福祉協議会、PTAなど
支援者・連携	○フィールドワークやワークショップ、マップづくりに関わる学識経験者や専門家など ○アーキワーク広島など、基町に感心のある団体等
手法・支援策	○広島市の支援 ○公益信託広島市まちづくり活動支援基金（ふむふむ）などの活用
資金	○同上
場所、道具、 設備機器	○基町及びその周辺 ○フィールドワークやワークショップの備品等
期待する効果	○地区住民等が基町の魅力や特色を知ることにより、地区への愛着やまちづくりの関心の醸成につながる。 ○外国人を含め、地区における暮らしの安全・安心や利便性の向上につながる。
具体化の課題	○資金の確保 ○担い手（主催）の確保
参考（事例等）	○安佐南区（散策マップ）など→事例紹介

事例：あさみなみ散策マップ



現地調査（お宝発見）



マップづくり作業



完成したマップ

みんなでつくるマップの作業イメージ（タタキ台） できれば3回ぐらい開催

基町再発見・まち探検とマップづくり

～見つめ直そう、基町のいいところ、生かしたい資源～

平成●年●月●日（●）9：00～12：00

会場：基町中央集会所（集合場所及びワークショップ会場）

主催：基町住宅地区活性化検討会 支援：広島市□□□



基町住宅地区やその周辺の地域の“宝”を、実際に現地を見てさがし、「お宝マップ」などとしてまとめましょう。

ここで作成したマップを踏まえながら、「基町再発見・まちめぐりマップ」（仮称）を作成します。

プログラム

みなさんへ

まずは、基町中央集会所に集合してください。

目安

9:00

(10分)

はじめに(会場)

- あいさつ
- 今日の取組、注意点の説明

9:10

(70分)

現地たんけん(フィールドワーク)

- 基町を3つの区域に分けて、幾つかのグループで“まち探検”
 - ・“宝”などの地図への書き込み
 - ・写真撮影（デジカメ）
 - ・所々で、特色等の説明

10:20

(休憩)

会場（基町中央集会所）へ

10:30

(70分)

“お宝マップ”等の作成(会場)

- ※班を再編成
- “宝”の出し合い
- “お宝マップ”等の作成（写真も貼り付け）※会場等で写真をプリント
- 名前づけ

11:40

(20分)

全体発表

- 班ごとに発表
- 意見交換、アドバイザーコメント
- 今回のまとめ等の活用について

12:00

終了

＜主な内容＞

- 現地：幾つかのグループで、“まち探検”
- 会場：“お宝マップ”等の作成

＜基本ルール＞

- 参加者は対等な立場で！
他の人の意見を尊重しましょう。
- 全員の思い・意見を！
1回の発言時間は1分ぐらいまでに。
- 見てきたもの、感じたことを自由に！
たくさん意見などを出し合ひましょう。

＜注意事項など＞

- ※“まち探検”するときには、車や自転車などに気を付けてください。
- ※所々で休憩、水分を補給してください。

＜各自の準備等＞

- 動きやすい服装で。
帽子があればベター！
- ペットボトル（お茶）1本は配布します。
追加は各自で！

テーマ	6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり
取組名称	もとまち歴史文化のまちめぐり ※「健康づくり・レクリエーションの場・コースの充実と活動展開」を含めて検討
目的	地区住民が基町の歴史文化を楽しみながら体験的に学び、知るにより、地域の再発見と愛着の醸成を図るとともに、広く参加を呼びかけたり、情報発信したりすることにより、基町への関心と理解を高めることを目指す。
内容(概要)	○資源の再発見（地域の宝さがしフィールドワークなど） ○幾つかのテーマ・コースでのまちめぐりの機会の確保 ○探訪マップ（防災・安全や健康づくりとの一体化も検討） ○説明板・誘導標識の設置
手順 着手時期	○まずは、有志で基町一帯の地域資源などを探索 ○広島市と相談・協議し、まちめぐりの具体化の方向づけ ○資源などを地図に記入し、幾つかの巡るコースを設定 ○地区住民等に呼びかけ、まちめぐりを幾つかのコースで実施→テーマを設定し、継続 ○探訪マップの作成 ○説明板等の整備
担い手・体制	○担い手のなる地区住民等の有志・団体
支援者・連携	○広島市・広島市教育委員会 ○関係する団体 ○学識経験者、郷土史家 ○健康づくりの専門家
手法・支援策	○地元と広島市（広島市教育委員会）による協働事業 ○説明板等の整備：広島市による事業化
資金	○マップは助成団体の助成金などを検討 ○説明板等は広島市による事業化
場所、道具、 設備機器	○基町一帯 ○歴史文化に関わる地域資源
期待する効果	○地区住民等における地域の再発見と愛着の醸成 ○広く基町のアピール
具体化の課題	○地元有志、担い手の確保 ○広島市としての事業化
参考(事例等)	○東区「二葉の里歴史の散歩道」→事例 ○南区「アース・ミュージアム元宇品」→事例紹介

事例：東区「二葉の里歴史の散歩道」

ODVDとマップ、説明板



基町一帯の主な資源など

テーマ	6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり
取組名称	建築や眺望などの活用、名所づくり
目的	建築や都市計画、眺望点など基町の地域資源を生かし、地区住民だけでなく外部からの人も受け入れ、地域の活性化と特色・魅力の公開を図る。
内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○建築探訪の支援・協力、ルールづくり ○大学・学生による基町ツアー、建築・都市計画ツアーなど（地域として協力・支援） ○基町ショッピングセンター等での食事・買い物（それに対応した店舗づくり） ○季節、時間なども意識した名所づくり（都市景観と瀬戸の島々、季節ごとの…、月見、初日の出など） ○街の観光・回遊の名所づくり ○基町ガイドの育成
手順 着手時期	<ul style="list-style-type: none"> ○地元の受け入れ態勢づくり ○関係団体（「アーキワーク広島」など）との連携 ○大学・学生との連携（建築・都市計画ツアーなど） ○地区住民への周知 ○基町ガイドの育成
担い手・体制	○地元（受け入れ体制）
支援者・連携	<ul style="list-style-type: none"> ○関係団体（「アーキワーク広島」など） ○大学・学生
手法・支援策	○地元（受け入れ体制）と関係団体の連携
資金	○基町ガイド（ボランティアガイド）養成等に関わる支援制度の検討
場所、道具、 設備機器	○見学コース
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ○基町への関心の高まり、外部からの人の訪れ→基町に対する誇りの醸成 ○交流活動によるコミュニティの活性化 ○商店街の活性化（食事、購買）
具体化の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○基町を訪れる需要の喚起 ○受け入れ体制づくり
参考(事例等)	<ul style="list-style-type: none"> ○尾道市近代化遺産めぐり→事例紹介 ○アース・ミュージアム 元宇品→事例紹介

事例：アース・ミュージアム 元宇品の活動

出典：広島市南区作成資料



アース・ミュージアム宣言
元宇品

地球規模の環境破壊が心配されるいま、私たちは都市の中で、自然を想い、地球（アース）を感じることでできる場をアース・ミュージアム（地球博物館）と呼ぶこととしました。

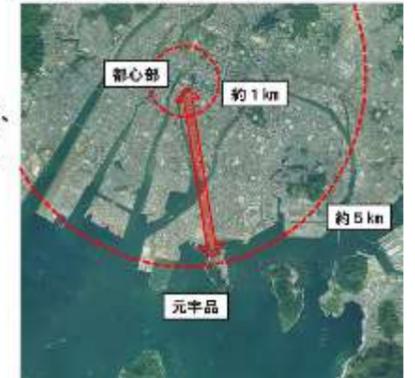
三つの方針
『ありのままの自然』の確保
『自然との出会いの場』づくり
『環境教育の場』づくり

南区魅力づくり事業
アース・ミュージアム元宇品構想制作委員会

広島市において、南区の元宇品がその地にふさわしい「場」となるよう3つの方針を掲げ、具現化に向け努力します。

元宇品がアース・ミュージアムにふさわしい理由

●元宇品は都市空間の中の国立公園です



広島市のデルタの南、都心部の平和公園から約5kmのところに位置する

●元宇品には『ありのままの自然』が残っています

- クスノキやツブラジイ、ヤブツバキ、カクレミノ、アベマキなどの広葉照葉樹の原生林
- 断崖や自然海岸、海とその生き物



アラカシ 海食崖

事例：尾道市近代化遺産めぐり



<元宇品での3つの自然観察会>



テーマ	6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり
取組名称	基町ものしり講座（仮称）の開催の検討
目的	基町の歴史文化、都市計画・建築の特色などを、リレー形式で学ぶ機会を確保し、地区住民をはじめ広く参加を呼びかけ、基町に関する知識と関心を高める。
内容（概要）	○リレー形式で基町に関わる講座・学習、体験機会を確保する ・歴史文化：築城～被爆、被爆・復興 ・都市・建築：都市計画、再開発事業、建築（復興ともリンク）
手順 着手時期	○実行委員会等の立ち上げ、企画の作成、テーマや講師の調整、開催準備など ○平成25年度に企画・準備等を行い、平成26年度から開催
担い手・体制	○実行委員会の立ち上げ：地区住民の代表、有志、広島市（中区）、広島市教育委員会など
支援者・連携	○講師・話題提供者：学識経験者、事業に関係した人、地区住民など
手法・支援策	○実行委員会方式による具体化 ○広島市の事業（共催）としての検討
資金	○参加費の徴収：講師謝金等の確保 ○広島市による予算の確保の検討
場所、道具、 設備機器	○中央公民館、基町中央集会所、広島市中央図書館など
期待する効果	○子どもたちを含め基町の歴史文化や特色などを学ぶことで、地域への愛着や誇りにつながることが期待される。 ○広く情報公開（発信）するとともに、参加を促進することで、基町、そして広島の歴史文化、都市文化をアピールすることができる。
具体化の課題	○実行委員会の立ち上げなど、推進・運営体制づくり ○広島市の支援（共催など）
参考（事例等）	○東区二葉の里歴史の散歩道：歴史講座



陸軍病院門柱跡

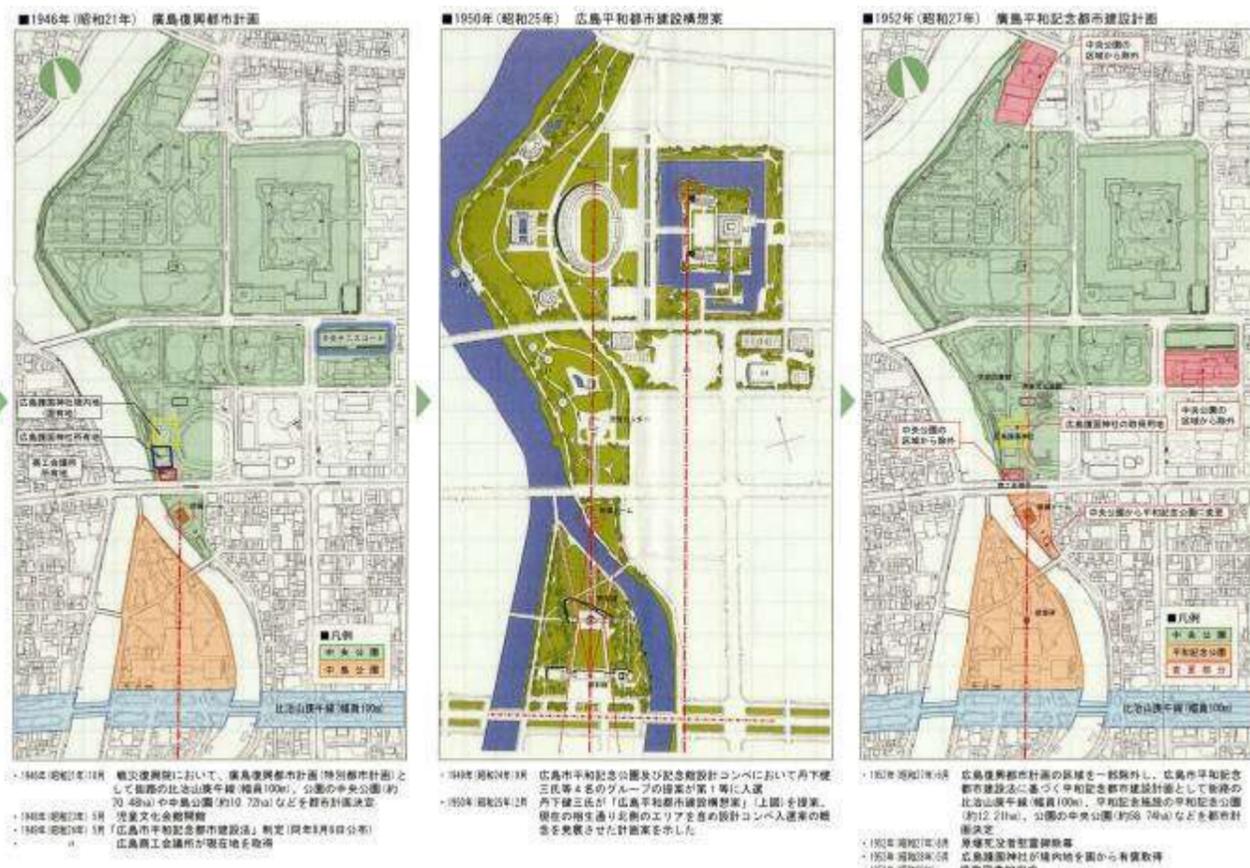
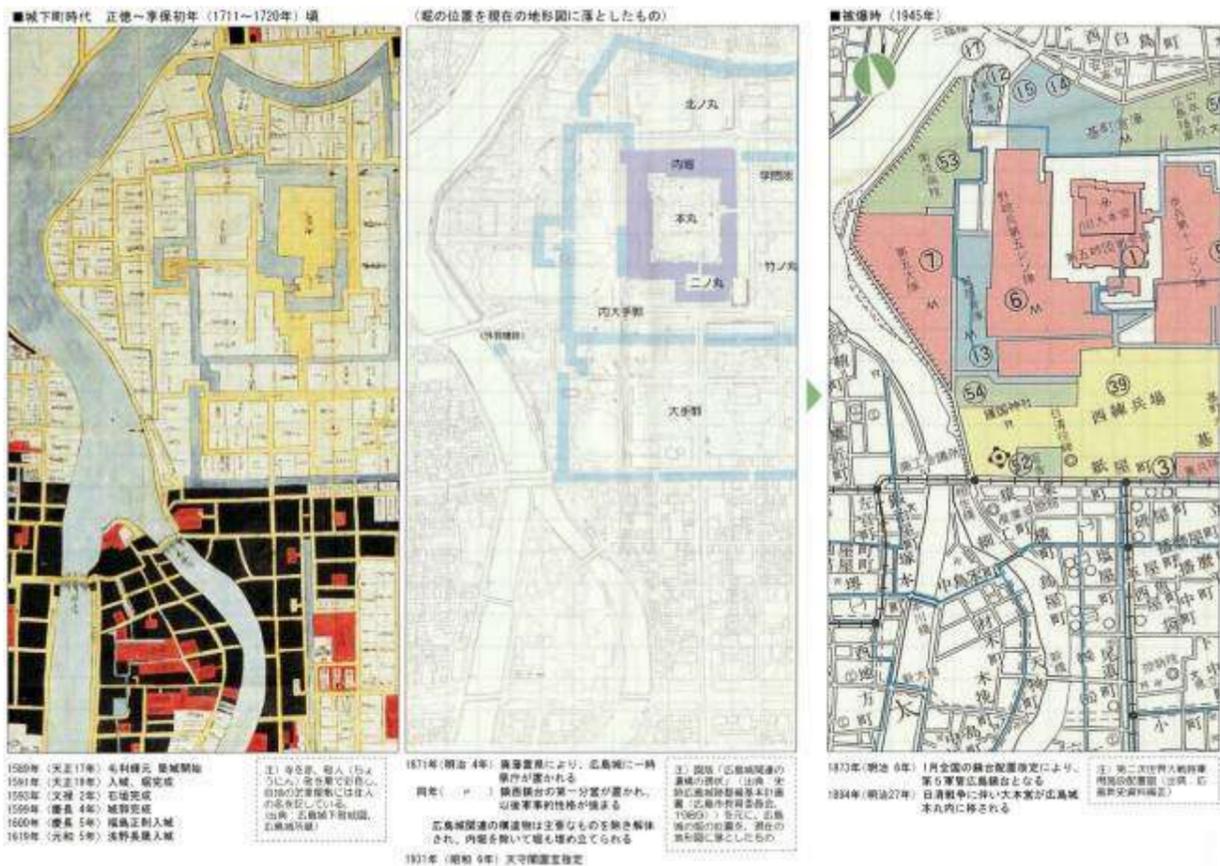


被爆エノキの跡とエノキ2世



基町住宅団地そのもの「ものしり講座」の対象

基町は広島の都市の歴史→歴史や都市計画、建築などの面からも題材に事欠かない



テーマ	7 にぎわい再生(商店街等)
取組名称	定期的な“市”『基町バザール(マルシェ)』の開催
目的	基町ショッピングセンターの中央広場などを利用し、定期的な“市”を開催することによって、地域内外の多様な交流・ふれあいや新たな楽しみを生み出すとともに、商店街の活性化に資する。
内容(概要)	○中山間地域や島しょ部、日本海沿岸部などと連携した朝市などの開催(イベント化) ○様々な食の場の提供。多様な文化を体感できる食や商品の提供(販売)。帰国者や中国の人との連携・参加促進(水餃子など) ○フリーマーケット等もセットで行う。
手順 着手時期	○担い手の確保、実行委員会等の立ち上げ、広島市との協議、参加団体等の確保、地区外の団体等の情報把握・連絡・調整、資金の確保など ○おおむね2～3年後の実現を目指す。
担い手・体制	○運営の組織づくり(実行委員会など) ○商店会など入店者が中心となって主催したイベントがベター ○地域の各種団体などとの連携
支援者・連携	○自治会や社協などとの連携 ○継続的に話し合う場づくり ○基町ショッピングセンター、生協、中央が中心になって話し合う ○大学などの参加・協力 ○応援団・支援者をつくる、見つける
手法・支援策	○助成制度の検討→活用に向けた取組
資金	○会費や寄付、商品等の販売による確保
場所、道具、 設備機器	○基町ショッピングセンターの中央広場などの活用
期待する効果	○地域内外の多様な交流・ふれあいや新たな楽しみを生み出すとともに、商店街の活性化に資する。 ○中国帰国者等とその他の住民の相互理解と交流促進につながる。
具体化の課題	○運営の組織づくり、全体的な商店会の再構築 ○人・組織とのネットワーク・協力体制づくり ○帰国者の会と社協、連合自治会との協議 ○資金確保
参考(事例等)	○高槻市：大冠朝市・高槻天川府営住宅内(憩いの館)で毎週日曜日に開催(小規模) ○ひろしま朝市→事例紹介

事例：ひろしま朝市

出典：広島市農業振興センターHPより



ひろしま朝市(平和大通り)

平和大通りで毎週日曜日に開催。広島市内の農林漁業者が生産した新鮮な野菜や水産物のほか、漬物、餅などの加工品も販売されている。



「ひろしま朝市」開催情報

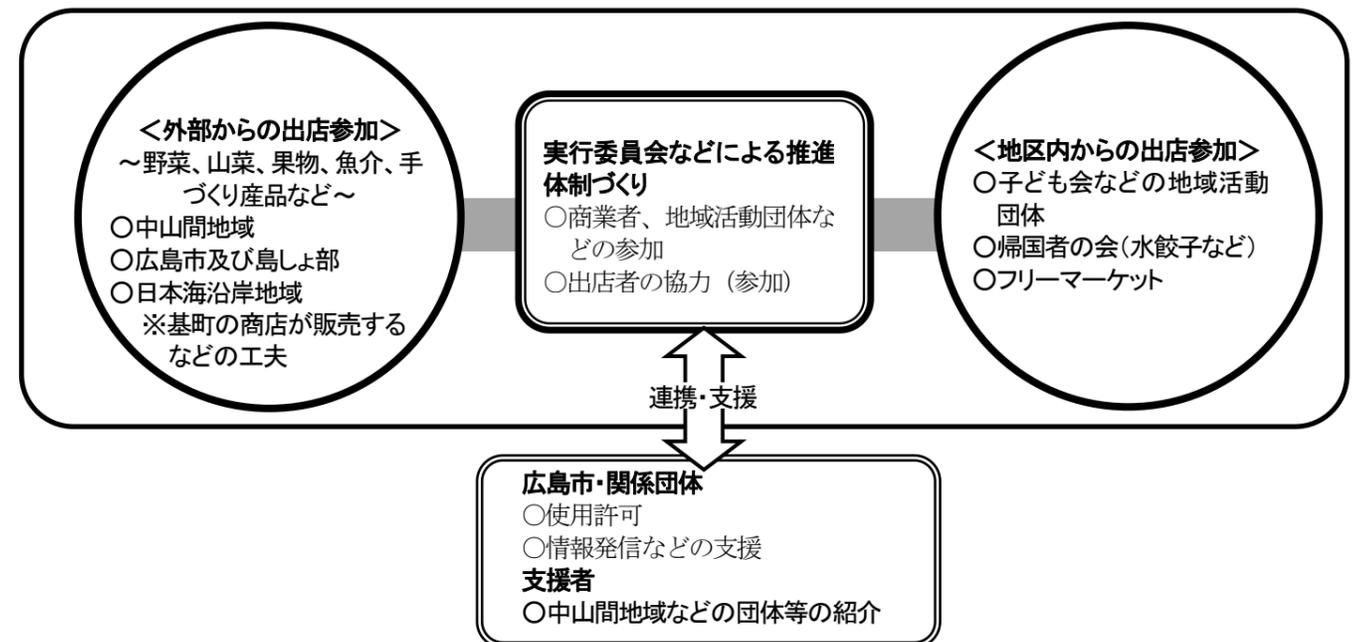
- 開催場所
平和大通り南側緑地帯(中区富士見町)
- 開催日時
毎週日曜日 8時15分から10時頃まで(開店から1時間程度で売り切れる場合があります)
- 開催内容
広島市内の農林漁業者が生産した新鮮な野菜や果物、花や水産物のほか、漬物、餅などの加工品等を販売します。
販売される品目は季節ごとに変ります。
- お願い
遠方よりお越しの方は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
ひろしま朝市の駐車場はありません。路上駐車厳禁です。

■臨時休市(ひろしま朝市自動音声案内:504-2247、土・日・祝日のみ)

～産地直銷、都市農村交流を推進します～
台風の接近や、積雪、
雷などの天候等により、
中止する場合があります。



【基町での実施体制のイメージ】

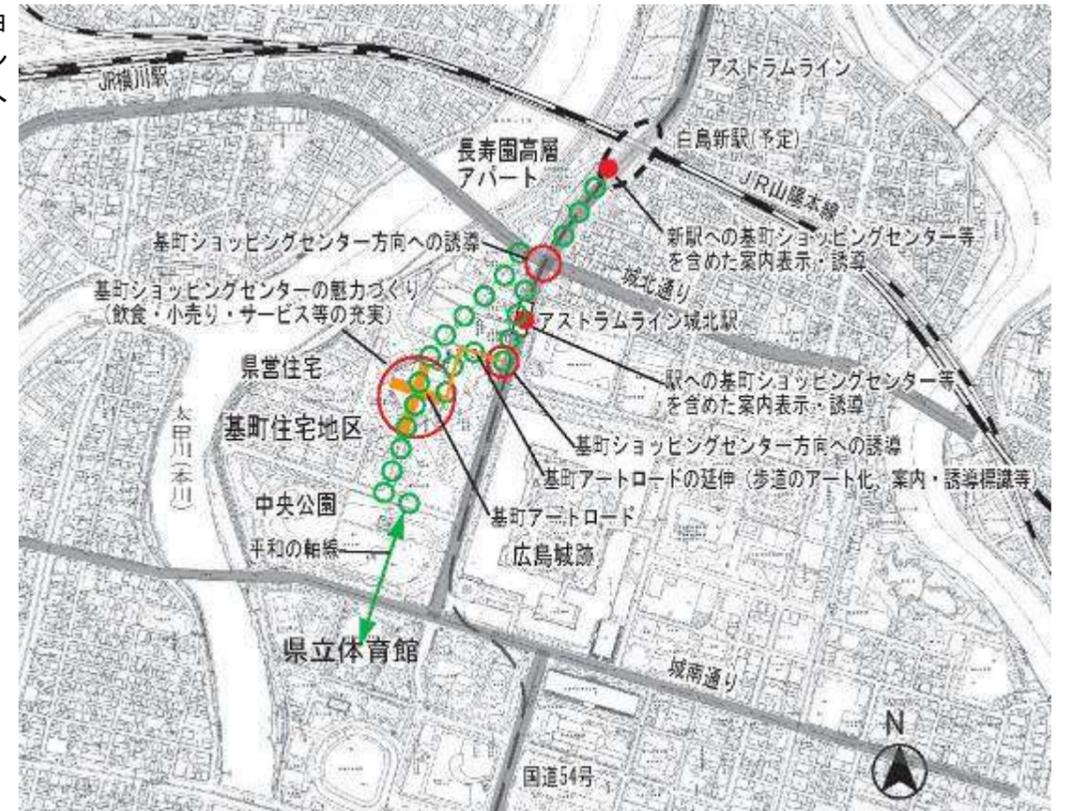


基町アートロード、アートによる魅力づくり

5 短・中期に具体化を目指す主な取組の内容～（主として）新たな取組～ IV 活性化策

テーマ	7 にぎわい再生（商店街等） （「5 団地共用空間の再編・活用」「6 地域資源の再発見と活用、魅力づくり」にも関係）
取組名称	基町アートロード、アートによる魅力づくり ※「特色と魅力ある商店街づくり」で一部着手を検討
目的	様々な参加のもとに、歩いて楽しい個性ある通りをつくることと、基町ショッピングセンターなどの魅力づくりと内外からの人の誘導を図る。
内容(概要)	○デザイン化したサインの整備 ○シャッター等のデザイン化（絵）など ○彫刻・オブジェなどの設置 ○定期的な芸術作品の入れ替え・展示（スペースの確保） ○市立大学、比治山大学、基町高校などとの連携
手順 着手時期	○地元における体制づくり、大学等を含めた連携体制づくり ○企画、計画の作成 ○広島市との協議・調整、支援の確保 ○段階的な取組展開（全体計画のもとにテーマを設定し、まず可能な部分からスタート→次への展開）
担い手・体制	○地元における体制（実行委員会など） ○大学等との連携体制（実行委員会など） ○広島市との連携、協働の体制
支援者・連携	○市立大学、比治山大学、基町高校など ○広島市
手法・支援策	○広島市及び対象となる市営店舗利用者の同意、支援 ○大学等の参画
資金	○各種団体の助成金 ○寄付、協賛金 ○その他（広島市が事業化した場合など）
場所、道具、 設備機器	○基町ショッピングセンターの通路・広場 ○基町ショッピングセンターへのアクセスルート（周辺の道路（歩道）を含む）
期待する効果	○基町ショッピングセンター等へ内外から訪れる人が増え、活性化に資する。 ○歩いて楽しい歩行者動線ができ、高齢者等の外歩きや交流が増える。 ○地元、大学・高等学校等の連携が深まり、アートロード以外の取組などへの発展が期待される。基町研究室の設置への寄与も期待される。
具体化の課題	○地元の協力、体制づくり ○大学等の参画 ○広島市の支援
参考(事例等)	○基町ショッピングセンター：ほのぼの基町、ほのぼの文庫・基町（シャッターのデザイン） ○鳥取県境港市「水木しげるロード」→事例紹介

■動線（ルート）のイメージ：「白島新駅（仮称）～基町ショッピングセンター～県立体育館方面」への動線



基町SCのシャッターの閉まった状況



基町SC東側の壁面。中央付近は段状花壇(未活用)



基町SCの「ほのぼの文庫基町」のシャッターのデザイン化



城下町をテーマとした壁画(広島拘置所)



太田川をテーマとした壁画(新己斐橋橋脚・市立大学卒業生の作品)

事例：鳥取県境港市「水木しげるロード」



＜基町におけるイメージ＞
●基町におけるテーマづくりとそれに基づいた作品制作
↓
●基町ショッピングセンターの中央広場、アストラムライン城北駅付近と基町住宅地区をつなぐルートへの設置

テーマ	7 にぎわい再生（商店街等）
取組名称	特色と魅力ある商店街づくり ※「駐車場の再整備と有効活用」、「起業やチャレンジショップ等の出店の支援」、「組織的運営による魅力ある店舗づくり」、「白島新駅（予定）～基町ショッピングセンター等～県立体育館・旧球場跡地方面をつなぐ動線づくり」、「基町アートロード、アートによる魅力づくり」、「安全・セキュリティの体制づくり」を含めて検討
目的	住民ニーズや商業環境の変化、白島新駅の整備（予定）などを考慮するとともに、市営店舗利用者と広島市が連携し、外部の専門家等の支援も得ながら、特色と魅力ある基町ショッピングセンターや各商店会等とする。
内容(概要)	○一定のスペースでエスニック、多様な文化・国際色豊かな飲食店をつくる。 ○お好み村的特色づくり ○基町SCをわかりやすく（開かれたイメージ） ○わかりやすい案内板の設置 ○バス通り側のシースルー化 ○アートロードづくりやアートによる魅力づくり ○空き店舗の調整 ○アンケート調査の実施 ○大学・基町高校との連携 ○商店会の意向を反映した出店 ○入店基準の見直し（緩和） ○チャレンジショップの支援 ○飲食系の店主（高齢化）がやる気を出す工夫 ○引越費用の負担（助成） ○食事が大事（飲食系の充実） ○白島新駅を生かした取組（人を引き込む工夫、魅力づくり） ○組織的な運営（共同経営、指定管理者制度の導入など） ONPO の設置 ○地下駐車場の再整備と運営管理体制の再構築（民間活力の導入など）
手順 着手時期	○商店街等での組織の強化、広島市との協議、話し合いと方針決定、具体的な計画づくりなど ○短期において着手し、一部実現を目指す。短中期において、段階的に具体化。
担い手・体制	○各商店街（会）がまとまった形に（復活）→年に数回の会合を行う ○地下駐車場及び基町ショッピングセンター等の全体または一定の区域における指定管理者制度の導入など、民間活力を取り入れた運営管理体制の検討
支援者・連携	○広島市（情報提供、商業振興） ○地区住民で専門的な知識のある人 ○外部の専門家等
手法・支援策	○商店街等での組織の強化とリーダーの確保 ○話し合いの機会の確保・拡充 ○各種支援策の情報把握と活用 ○専門家や広島市の支援の確保
資金	○広島市商店街振興事業補助金の活用 ONPOを設置し国の支援（補助金）を活用 ○広島市の支援（共用空間・設備の再整備の検討） ○民間活力（資金）の活用
場所、道具、設備機器	○基町ショッピングセンターや各商店会等（事務所の確保） ○白島新駅と県立体育館等を平和の軸線を生かしてつなぐ（歩行者動線の構築、ショッピングセンター等も組み込む）
期待する効果	○空き店舗が減少し、人通りが増え、経営の向上につながることを期待される。 ○地区住民等の出会いや交流の場としての役割も増し、高齢者の引きこもりを少なくすることにも寄与する。
具体化の課題	○入店基準の見直し ○店舗と介護関係の施設との調整 ○商店会連合の復活 ○セキュリティ・安全の確保 ○活性化に資する店舗の入店、その後の経営（店を開ける、シャッター通りにしない） ○資金の確保
参考(事例等)	○横川商店街 ○米子市中心市街→事例紹介 ○高知市「ひろめ市場」→事例紹介 ○鹿児島市「かごつま ふるさと屋台村～わっぜえうまかもん市場～」→事例紹介 ※かごつま＝鹿児島

事例：大阪市「道具屋小路」

○道幅3m程度の小路を「道具」の専門店で構成



事例：高知市「ひろめ市場」

○土佐藩家老の屋敷の跡地（通称「ひろめ屋敷」）を活用。○1階が店舗、2・3階が駐車場
○店舗は周囲の店から料理を頼み、内側のテーブルなどで飲食するスタイル。いわゆるフードコート形式の屋台村→土佐の食材、料理が味わえ、人気の観光スポット



中央の広場



カツオのたたきの専門店

事例：かごつま ふるさと屋台村～わっぜえうまかもん市場～

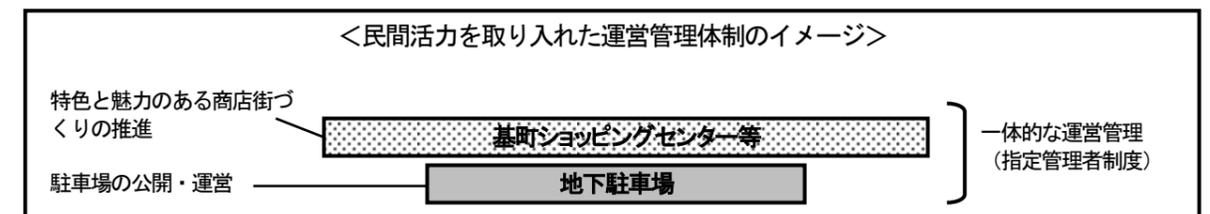
○平成24年4月オープン ○九州新幹線の開通を契機とした開設で、鹿児島中央駅に近接



屋台村正面・西郷門。入口（門）は複数か所あり



夕方は、高校生もやってくる



テーマ	8 人・組織づくり
取組名称	人材活用・育成とボランティア体制の構築 ※「外国人・帰国者のサポート・交流の仕組みづくり」を含む
目的	基町住民の知識や技術・技能、基町のまちづくりへの心を大切に、生かすことを基本に、地区内外の人々や団体等の協力を得ながら、人材の発掘・把握を行うとともに、まちづくり等に関わる人材の育成に取り組み、多様な人材の活用とボランティア体制の構築を図る。
内容(概要)	○知識や技術・技能を持つ人、役に立ちたいと思っている人の登録・活用 ○中国語（通訳）のできる人の登録・活用 ○生活サービス：コミュニティビジネス、有料ボランティア（地域通貨なども検討） ・電気・設備関係の修理、取付 ・通訳 ・買い物支援
手順 着手時期	○組織づくり（体制強化） ○1～2年で新たな生活サービスのボランティアを開始し、その後充実・強化する。
担い手・体制	○社会福祉協議会を中心としたボランティア組織の強化 ○取組の意義・メリットを整理し、伝え、ボランティアとしての参加を促進 ○職人、技術・技能、特技の活用 ○リーダーを探す、育てる ○グループづくり ○地区のボランティアグループとの連携・一体化
支援者・連携	○広島市社会福祉協議会ボランティア情報センターとの連携 ○学識経験者等の支援
手法・支援策	○社会福祉協議会を中心とした体制づくり ○広島市の支援
資金	○助成団体の資金の活用など
場所、道具、 設備機器	○活動拠点の確保（空き店舗の活用など）
期待する効果	○地区内において多様な分野・機能を持つボランティアが組織化され、暮らしの安心や利便性などが高まる。 ○ボランティアとして地区住民が参加することにより、生きがいや交流・連携が高まる。
具体化の課題	○人づくり、体制づくり→これができれば基町が動く ○拠点となる場所の確保と運営
参考(事例等)	○ほのぼの基町の活動 ○神戸市：市営住宅における高齢者見守り・コミュニティ支援 ○広島市まちづくり市民交流プラザ「まちづくりボランティア人材バンク」→事例紹介

事例：まちづくりボランティア人材バンク（広島市まちづくり市民交流プラザ）

出典：広島市まちづくり市民交流プラザHPより

達人として登録するには

- 「登録申込書」をプラザに提出してください。ご自身の達人ぶりをできるだけ分かりやすくPRしましょう。
登録された内容は、人材バンク登録内容リストやひろしま情報a-ネットで公開します。ただし、住所、電話番号（ファクス番号も）などは非公開。最初の連絡調整はプラザが行います。
登録された方については、活動に際して「広島市市民活動保険」が適用になります。
- 依頼があったときは、プラザからまず登録者に連絡をして、ご都合を伺います。ご了解が得られれば依頼先に連絡先を通知し、双方で打ち合わせをしていただきます。

達人を紹介してもらうには

- まず電話で相談しましょう。人材バンク登録内容リストや情報a-ネットの中から紹介してほしい人が見つかったら、団体やグループで「紹介申込書」を提出してください。ファクスでもOKです。
- 依頼があったときは、プラザからまず登録者に連絡をして、ご都合を伺います。ご了解が得られれば依頼先に連絡先を通知し、双方で打ち合わせをしていただきます。
謝礼金は要りませんが、交通費、資料代、材料費などの実費をご負担いただきます。

ケース1：「まちづくりボランティア人材バンク」に登録しよう、活用しよう

ケース2：基町版人材バンク「基町お助け絆バンク」（仮称）づくりのイメージ

- 理念：基町の人材を生かし、基町の安全・安心を確保し、基町の元気と住みよさを高める
- 事務局（連絡先）の確保
- 人材（達人）登録など、「まちづくりボランティア人材バンク」を参考に仕組みづくり
- 費用は実費+ワンコインなど
- 暮らしに関わる分野を中心に構成（達人募集→登録）
建築・電気・水道など建設系技術・技能、学習・子育て、通訳・外国語、パソコン・インターネット、健康・レクリエーション、食、環境（省エネルギー、ゴミ処理、リサイクル）、趣味・工芸など
- ※まずは、できることからスタート

テーマ	8 人・組織づくり （「4 多様な文化が交流できるまちづくり」にも関係）
取組名称	基町研究室・資料室の設置の検討
目的	大学等による多様な観点からも基町研究を、地域とのつながりと交流、現場重視の中で進めるとともに、研究の成果などの情報提供と発信、まちづくりでの具体化を図ることが、基町住宅地区の活性化にも資する。
内容(概要)	○複数の大学等の連携：都市、建築・福祉・介護、子育て、異文化交流・相互理解など ○大学等と地域の交流 ○基町研究（都市・建築、歴史、生活文化、異文化交流、高齢社会…）と情報提供の拠点 →研究成果の活用・実践 ○空き店舗の活用：研究・学習・作業、ギャラリー・展示、交流・サロン、収納などのスペース及び設備・備品 ○建築や都市計画の歴史（推移）と現在を見ることのできる画像・映像、模型づくり（展示） ○その他の分野を含めたパネルや公開資料づくり ○見学者の受け入れ
手順 着手時期	○大学等の基町でのサテライト研究室設置の検討 ○広島市との協議・調整 ○複数の大学等の場合は、大学等の協議・連携 ○広島市との協議による場所の確保（原則、無償貸与） ○場所の整備（補修、備品設置など） ○基町研究室での活動・研究
担い手・体制	○関係する大学等の連携、体制
支援者・連携	○広島市 ○地元の各種団体、住民
手法・支援策	○大学と広島市、地元が連携した事業展開 ○大学等の事業
資金	○大学の予算、研究助成など
場所、道具、 設備機器	○空き店舗など
期待する効果	○大学等と地元の交流、学生等と地区住民・子どもたちの交流 ○基町研究の推進 ○基町研究の成果の活用、まちづくりでの具体化 ○基町の情報発信、関心・注目 ○にぎわいづくりへの寄与
具体化の課題	○大学等の体制づくり ○場所の確保
参考（事例等）	○名古屋大学錦二丁目まちなかの会所・サテライト研究室→事例紹介 ○山口大学サテライト研究室（まちなか研究室）

事例：名古屋大学錦二丁目まちなかの会所・サテライト研究室

※大学院環境学研究科都市環境学地域貢献実習

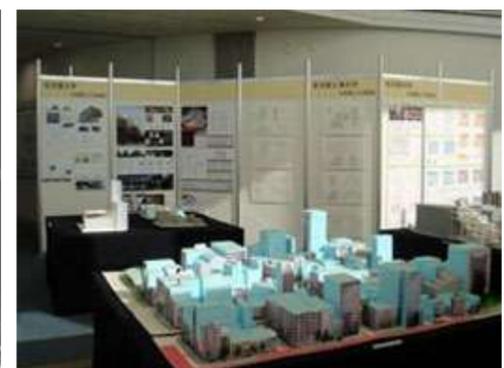
錦二丁目まちなかの会所・サテライト研究室

出典：錦二丁目まちなかの会所・サテライト研究室HPより

2008年度～2010年度、名古屋大学・都市計画（村山顕人）研究室は、都市環境学地域貢献実習（大学院授業）として、「錦二丁目まちなかの会所」における建築・都市設計活動に取り組みました。これは、錦二丁目まちづくり連絡協議会、NPO法人まちなかの縁側育くみ隊、愛知産業大学延藤安弘研究室他との協働で、名古屋市中区の「錦二丁目まちなかの会所」（愛知県名古屋市中区錦2-6-13 長者町あびすビルPart3・2階）にサテライト研究室を設置し、そこを活動拠点として、錦二丁目の持続再生に貢献する建築・都市設計活動を行うものでした。

2009年度～2010年度は、財団法人旭硝子財団の研究助成（第3分野（建築・都市工学）・研究奨励「大都市インナーシティの再生に向けた建築・都市空間の計画・デザイン手法：名古屋市中区錦二丁目のケース・スタディを通じて」）を頂き、(1)多世代居住機能の導入に向けた16街区全体の容積率調整、(2)街区内都市基盤（会所・路地）の計画・デザイン、(3)街路の計画・デザイン、(4)建て替え・再開発案件への個別対応という4つの具体的な課題に対する建築・都市空間の計画・デザインを実際に検討しました。

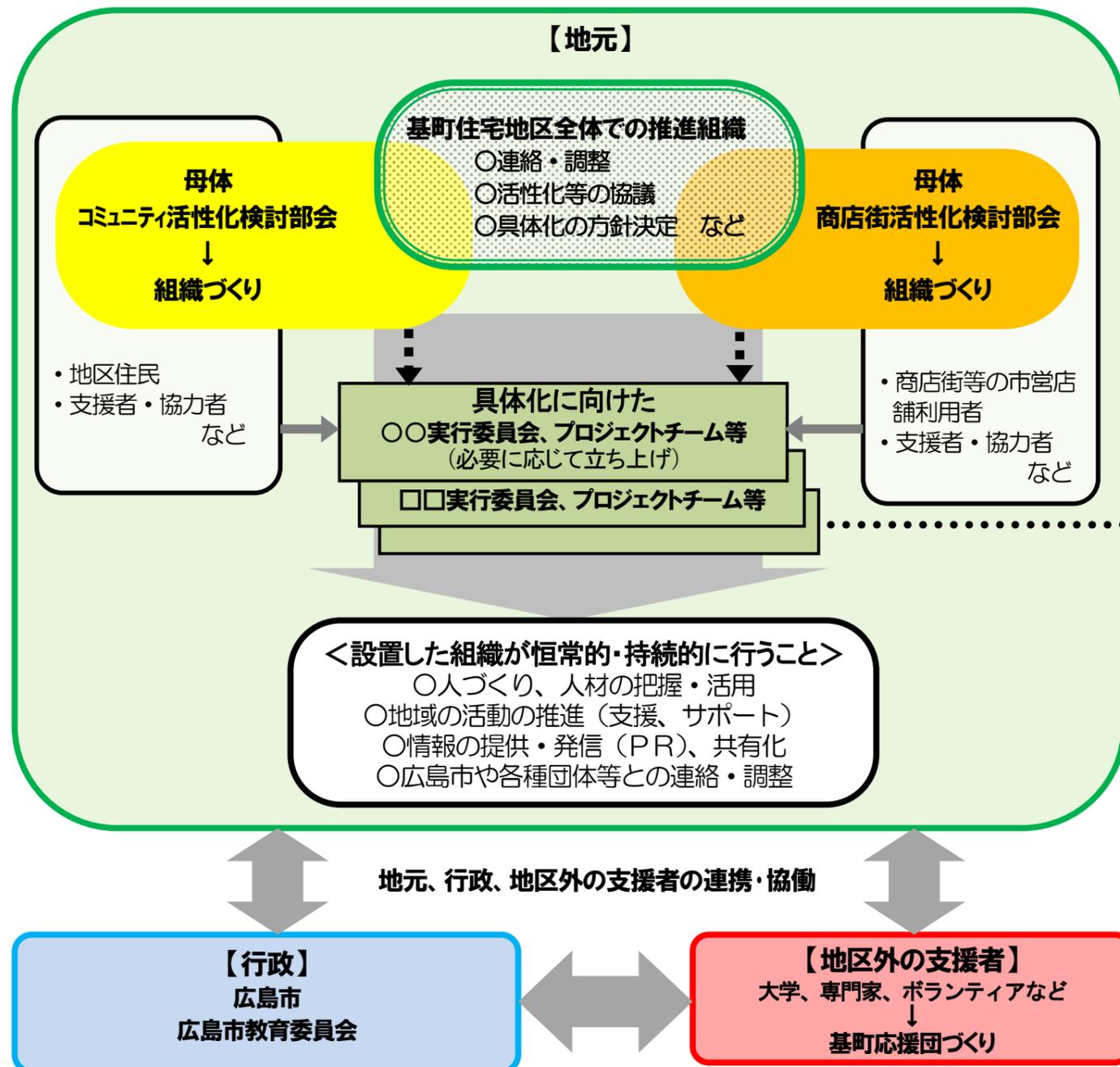
以上の取り組みの成果は、「これからの錦二丁目長者町まちづくり構想（2011-2030）」としてとりまとめられ、錦二丁目まちづくり連絡協議会において採択されました。



V 推進方策

1 推進体制

活性化策を進めるためには、地元（地区住民、地域活動団体等）において推進体制を構築及び充実・強化するとともに、地元、行政、地区外の支援者（大学、専門家、ボランティアなど）が連携・協働することを基本とする。



＜個々の取組において実行委員会等を設置＞

例：屋上庭園の（一時的）開放・活用
花いっぱい基町づくり
地域のマップづくり など

- 中心的な担い手を確保する→話し合いの場を確保する
- 具体化に向けた計画書（企画書）や手順を検討する
- 地元の理解と協力を得る。関係者等と調整する
- 参加の輪を広げる（担い手を増やす）
- 協力・支援の輪を広げる
- その他、解決しなければならない課題・ハードルを整理し、取り組む
- 関係する情報・技術などを取り入れる
- 必要な資金・モノを確保する

※ 平成 25 年度以降、上記の取組を推進していくため、地元において自主的な実行委員会等を設置する。

2 活性化策の推進に向けた体制の充実・強化と運営

活性化策の推進のため、前述のような体制を築き、さらにその運営などにおいて、以下のように取り組む。

【地元（住民・地域）として】

- ① 全体及び2つの組織の定期的な会合と連絡調整
 - 基町住宅地区全体で活性化を推進する組織において、定期的な会合を持ち、コミュニティ及び商店街等に関する情報の共有化と連携に努めるとともに、全体的な取組の方針決定などを行う。
 - 活性化策の具体化に関しては、全体及び2つの組織において、より開催密度を高めて会合を開くこととする。
- ② 気軽に参加、語り合えるサロンの確保
 - コミュニティ及び商店街等の組織においては、地区住民等が自由、気軽にまちづくりなどについて意見を述べたり、語り合ったりできるサロンの確保に努める。
- ③ 地域の人材の把握・活用、担い手の発見
 - 地区内の人材の把握に努めながら、住民等への活性化に関する情報の提供や相談・意見交換を行い、活性化策の担い手、協力者になってもらうよう努める。
- ④ 担い手などへの支援
 - 人やもの・場所、情報、資金などに関する支援制度などの情報を把握するとともに、必要に応じて、その活用が可能となるように取り組む。
- ⑤ 地区外の団体・人とのつながりづくり、基町応援団づくり
 - 地区外の団体、大学、学識経験者・専門家、基町に関心のある人々などによる基町応援団の構築に努める。
- ⑥ 「できること」の実現と効果及び波及効果の確保
 - 実現性と効果が期待できる活性化策を抽出し、実行委員会等を立ち上げるなどして、具体化に向けて取り組む。
 - その経験や成果など生かしながら、次の活性化策へと進んでいく。
- ⑦ 事業組織の検討
 - 地域貢献を軸とした事業の視点（コミュニティビジネス）で、配達（食事、食材・日用品、新聞、灯油、宅配便など）及びそれに合わせた見守り、災害時の支援などを行う事業組織づくりが考えられる。
 - こうした事業組織については、地区住民や市営店舗利用者、地区外の賛同者などからの出資が考えられる。
 - 担い手としては、高齢者（生きがい活動・就労）をはじめとした地区住民及び学生などが想定でき、内容によって無償及び有償ボランティアを検討する。
- ⑧ 情報の提供（発信）と共有化
 - 活性化策などに関する情報をわかりやすく提供し、その共有化を図る。
 - その方策としては、連合自治会等の会合での情報提供、かわら版などを作成し掲示・配布すること、口コミでの情報の広がりを図ること、マスコミの活用、ホームページでの情報の受発信などがあり、一步一步、具体化に向けて取り組む。

連携・協働

【広島市として】

- ① 地域再生計画の認定取得
 - 高齢者や学生向けルームシェアなど住宅の使用目的と異なる使い方をするため、国の目的外使用の弾力的な取り扱いを受けることができる地域再生計画の平成25年度中の認定を目指す。
- ② 組織横断的な基町活性化に向けた取組（行政としてのパッケージ・プラン）
 - 地域再生計画の認定の有無にかかわらず、関係する部署の連携のもとに、パッケージ・プランの視点を持ちながら、基町活性化に向けた取組を組織横断的かつ総合的に進める。
 - 地域再生計画が認定された場合は、地域再生計画に基づく取組の具体化を図る。
- ③ 住民・地域との連携と活性化支援
 - 地区住民や関係団体等との連携を図るとともに、活性化に向けた取組の支援に努める。
 - 地区住民・地域活動団体等との協働の取組等の具体化に努める。

基町住宅地区活性化検討会構成員名簿

会 長	地区住民代表	徳 弘 親 利	基町地区社会福祉協議会 会長 基町地区青少年健全育成連絡協議会 会長
副会長	地区住民代表	瀬戸口 寿 一	基町連合自治会 会長 基町学区連合自主防災会 会長
	地区商業者代表	下 奥 裕 司	基町ショッピングセンター代表
	地区商業者代表	淀 川 豊	基町生協センター代表
	学識経験者	間 野 博	県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科 教授
	学識経験者	平 野 吉 信	広島大学大学院工学研究科 建築学専攻 建築計画学講座 教授
	学識経験者	藤 山 浩	島根県中山間地域研究センター研究企画監、 島根県立大学連携大学院教授
	学識経験者	田 中 聡 子	県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科 准教授
	学識経験者	山 田 知 子	比治山大学大学院現代文化研究科・現代文化学部 子ども発達教育学科 准教授
	実践者	吉 村 徳 則	株式会社成研 代表取締役
	市職員	佐名田 敬 荘	広島市都市整備局住宅部長
	市職員	松 本 良 徳	広島市中区役所市民部長
事務局	委託者	広島市都市整備局住宅部住宅整備課	
	受託者	株式会社地域計画工房	